ダークツーリズム
教育的価値
死者に対する悼み、地域の悲しみ（と怒り）の理解・継承
戦友会ツアーとの違いは

細菌戦の加害・被害・被害者を理解するために
ペストの流行の仕組み
ペストの防疫状況
家族・親族被害
流行時の恐怖　治療がなければ死亡率90％以上
残された者の生活
被害（死）を受けとめる感情・記憶
自然流行と思っていた　→　細菌戦であった
街・村の被害
環境汚染
裁判を起こそうと決意した
裁判の結果・日本政府の対応
裁判その後
戦史的状況の把握

細菌戦
①　1939　ノモンハン細菌戦
②　1940　ハルビンチフス細菌戦　？
　　③農安・大賚細菌戦
　　④農安細菌戦
　　⑤寧波細菌戦
　　衢州細菌戦　→　⑧と一緒
　　⑥トラック部隊（杭州から）その他
⑦　1940　金華細菌戦
⑧　1941　常徳細菌戦　1942　浙贛細菌戦　　浙贛作戦終了後細菌戦を行う
⑨　衢州細菌戦　浙贛細菌戦衢州　　江山・常山・東陽・雲和（省略）
⑩　麗水細菌戦　⑪　四路口への伝播　⑫　義烏への伝播
⑬　廣信、廣豊、玉山細菌戦
⑭　1942　2～5月　広東南石頭細菌戦　香港難民　ゲルトネル菌
　1943　山東コレラ作戦（省略）

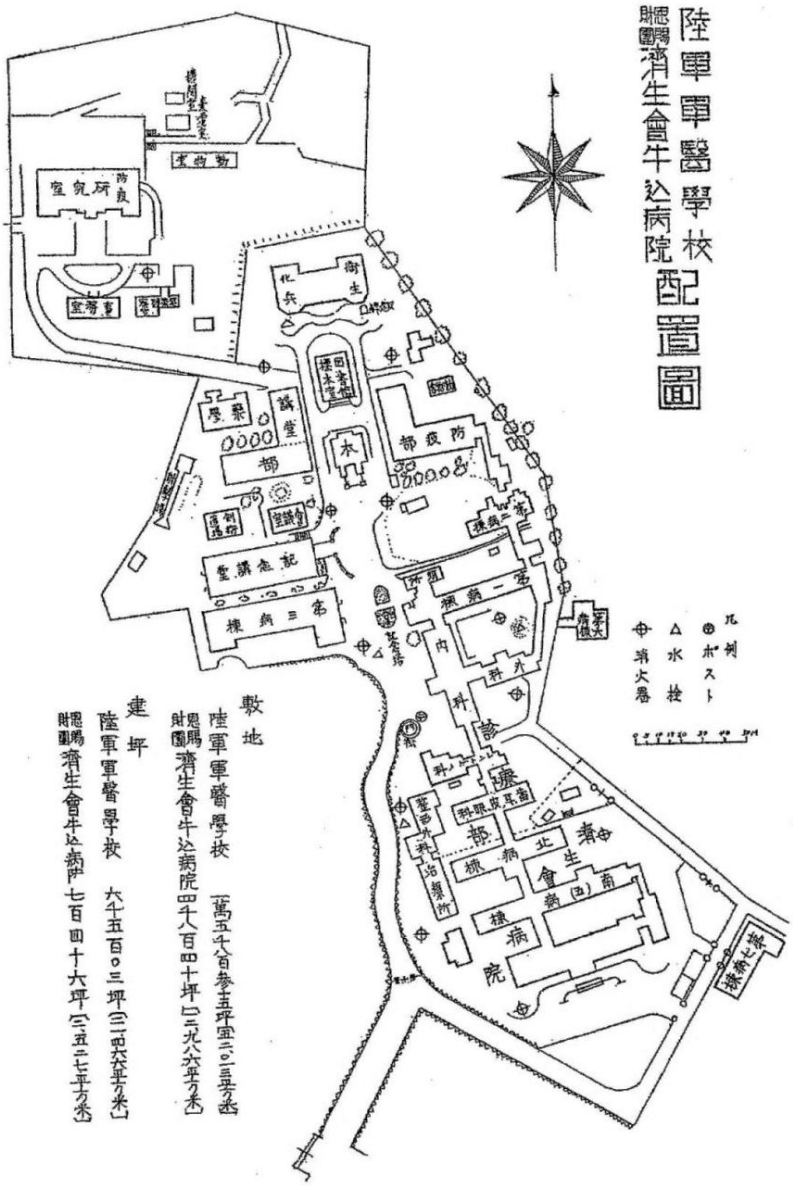
細菌戦部隊の始まり

陸軍軍医学校防疫研究室
1932. 4. 1　陸軍軍医学校内に防疫研究室（防研）が梶塚隆二を主幹として設立
1932夏　満州コレラ調査
1933　研究棟完成　　東郷部隊？

【陳　述　書　　天野　良治】

二　私が昭和一六年四月末から昭和一八年六月末まで配属されていた陸軍軍医学校防疫研究室のことについてお話致します。

陸軍軍医学校防疫研究室は、陸軍軍医学校と陸軍参謀本部の両方から指揮、命令を受けていました。図にすれば別紙一のとおりとなります。陸軍軍医学校防疫研究室というのが、陸軍軍医学校の指揮系統の呼び名であり、陸軍防疫給水部というのが、陸軍参謀本部の指揮系統の呼び名なのです。実際、陸軍軍医学校防疫研究室（陸軍防疫給水部）の敷地の門には「防疫研究室」の看板が、事務棟の入口には「陸軍防疫給水部」の看板が掲げられていました。また、たとえば、陸軍防疫給水部（陸軍軍医学校防疫研究室）の内藤や橋本は、陸軍軍医学校の教官も兼務していました。



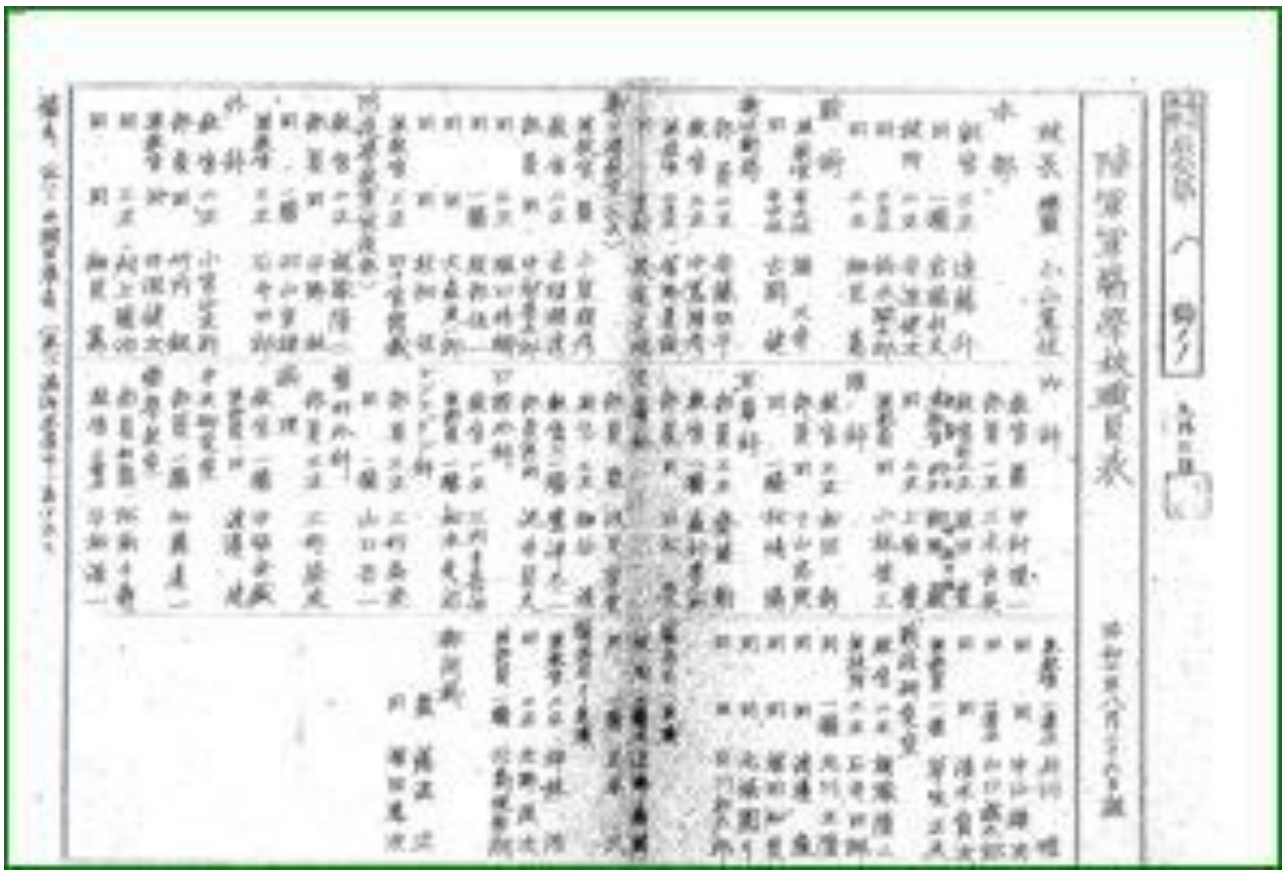
防疫研究室には、一研から一七研までありました。「研」とは、簡単に言えば班のことで、一七の部門に分かれていました。私は、それらの班とは別の経理部に所属し、経理部六名の中では、Ｎ０２の立場にありました。秋葉主計中尉（当時）が経理部の責任者で、そのほか久米、植草という方がいらっしゃったのを覚えています。

防疫研究室には、人員が三〇〇人くらいいました。三分の一が軍人で三分の二が軍属でした。また、丁種学生（防疫給水部配属の下士官、軍曹や曹長）が防疫研究室の敷地内の兵舎に泊まっていました。

当時、石井四郎は少将で、防疫研究室の責任者でした。「隊長」と呼ばれていました

三　次に、防疫研究室の行っていた活動について、私の分かる範囲でお話致します。

主計をしていたので、研究内容についてはわかりません。しかし、陸軍防疫給水部（陸軍軍医学校防疫研究室）が、前線の各陸軍部隊の防疫給水部（第七三一部隊等）を指揮しており、その指揮・命令の内容が細菌戦等の攻撃面にあったこと、現地部隊ではそのための人体実験等を行っていたことは、間違いのない事実だと思います。防疫給水部は、中国で生体実験などを繰り広げた第七三一部隊などの現地部隊の総本山であり、中枢でした。防疫研究室には、事務棟（別紙二図面の①）、研究棟（別紙二図面の②）、実験用の動物舎（別紙二図面の③）、丁種学生の兵舎（別紙図面二の④）がありました。防疫研究室の敷地内には憲兵がおり、研究内容等については、外部からはわからないようになっていました。防疫研究室の方から軍医学校の敷地に行くのはほぼ自由でしたが、軍医学校側から防疫研究室の敷地に入るのは困難でした。事務棟には、石井四郎、内藤良一、井上等がいました。私は事務棟の隣の別棟の事務室にいました。



満州コレラ調査班

1932年夏、コレラの防疫指導のために、陸軍省から石井等の防疫研究室員が派遣された。『昭和7年全満州を襲いたる「コレラ」の調査及「コレラ菌」の研究』には、その活動が詳しく記されている。調査班員は石井を班長とし、増田知貞、技術雇員の石山金三と古本廣文である。

コレラの流行は、1932年4月23日の広州に始まり、北上して4月26日に上海、6月18日に山海関、7月11日に大連、7月中旬以降にはほぼ全満州に流行が拡大した。患者総数5000人、死者3000人といわれるが正確な数は分からない。北支某所に蔓延したコレラは、明瞭に人為的な流行であり、満州各地のコレラも人為的な疑いがあるという。調査班は8月8日東京を出発し、コレラ菌558株を蒐集し、9月30日に帰国した。

	石井	増田	石山	古本
８月８日	東京出発			
８月１１日	奉天　関東軍司令部に申告			
８月１３日 ８月２５日	ハルビン ハルビンを南下			
８月２６日	チチハル	吉林	長春	四平街
８月２７日	長春に集結し四平街へ			
８月２８日	鄭家屯			
	通遼	通遼	洮南	通遼
８月３０日	鄭家屯			
		奉天 鉄嶺		奉天 鉄嶺
９月１日	奉天			
９月２日	遼陽衛戍病院奉天分院に入院			
９月４日		大連から帰国へ	錦州	遼陽・大石橋・営口・蓋平・瓦房店・普蘭店・金州・大連
９月５日			奉天	
９月７日		東京	新民	
９月９日	退院・新民の調査を補足・奉天			
９月１０日 ９月１３日 ９月１７日 ９月１８日	遼陽 営口・田庄臺 蓋平・大石橋の補足・大連 旅順			
９月２０日	大連発		龍王塘・虎子窩	
９月２４日 ９月２６日 ９月３０日	東京		龍王塘・虎子窩出発 東京	

報告書の人為的とされた「新民」での流行は自然流行との内容が併記されている。

石井、増田は「事変業務従事者」であるが、この間の満州での活動は確認されていない。

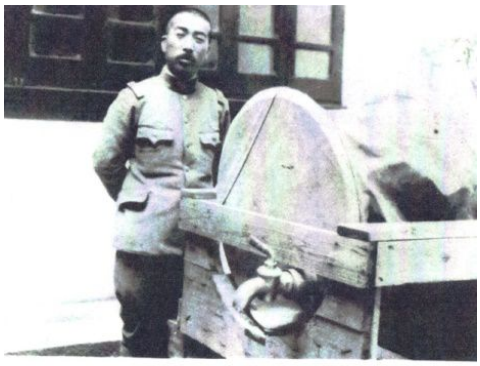
石井四郎	1931. 9. 21	1932. 8. 7	1932. 9. 23	1933. 9. 29
増田知貞	1931. 9. 21	1932. 8. 7	1932. 10. 1	1932. 12. 24

石井四郎等の満州事変地出張期間を表にすると以下のようになる。

石井四郎	1932. 8. 11	9. 19	1933. 9. 30	1934. 3. 31
増田知貞	1932. 8. 9	9. 6		
北川正隆	1932. 8. 9			1934. 3. 31
北條圓了			1933. 3. 30	1934. 3. 31
渡邊廉			1933. 10. 3	1934. 3. 31
西村英二			1933. 10. 10	1934. 3. 31
白川初太郎				1934. 1. 3　3. 31

「[満州]事変業務従事者人名簿」(『陸軍軍医学校五十年史』)

石井の業務援助のために、嘱託4名、雇員5名、傭人27名が満州に出張しているが、満州コレラ調査と関係があるのかに関しては不明。



種一の器水濾

1935　平房に関防給が設立されることになった。其の準備の為昭和10年設立準備委員がハルビン陸軍病院の隣に建物を建て昭和14年現在の体制に移った。　(増田知貞訊問録)
1936　関東軍防疫部
1940　ハルビン　関東軍防疫給水部
1938　北京　北支那防疫給水部　甲1855部隊
1939　南京　中支那防疫給水部　栄1644部隊　多摩部隊
1939　広東　南支那防疫給水部　波8604部隊
1942　シンガポール　南方軍防疫給水部　岡9420部隊
1940　731 部隊(**本部**)　満州第 659 部隊(関東軍防疫給水部全体)
1945.6　関東軍防疫給水部全体　満州第25201部隊
　　ハルビン本部　満州第25202部隊
1940　牡丹江支部　満州第25203部隊
　　林口支部　満州第25204部
　　孫呉支部　満州第25205部隊
　　ハイラル支部　満州第25206部隊
　　大連支部　接収は1938

関東防空隊給水部略歴

（関東軍防疫部）

通称号　機第二五〇一、二五〇二、二五〇三、二五〇四、二五〇五、二五〇六、二五〇七、二五〇八、二五〇九、二五〇十、二五〇十一、二五〇十二、二五〇十三、二五〇十四、二五〇十五、二五〇十六、二五〇十七、二五〇十八、二五〇十九、二五〇二十、二五〇二十一、二五〇二十二、二五〇二十三、二五〇二十四、二五〇二十五、二五〇二十六、二五〇二十七、二五〇二十八、二五〇二十九、二五〇三十、二五〇三十一、二五〇三十二、二五〇三十三、二五〇三十四、二五〇三十五、二五〇三十六、二五〇三十七、二五〇三十八、二五〇三十九、二五〇四十、二五〇四十一、二五〇四十二、二五〇四十三、二五〇四十四、二五〇四十五、二五〇四十六、二五〇四十七、二五〇四十八、二五〇四十九、二五〇五十、二五〇五十一、二五〇五十二、二五〇五十三、二五〇五十四、二五〇五十五、二五〇五十六、二五〇五十七、二五〇五十八、二五〇五十九、二五〇六十、二五〇六十一、二五〇六十二、二五〇六十三、二五〇六十四、二五〇六十五、二五〇六十六、二五〇六十七、二五〇六十八、二五〇六十九、二五〇七十、二五〇七十一、二五〇七十二、二五〇七十三、二五〇七十四、二五〇七十五、二五〇七十六、二五〇七十七、二五〇七十八、二五〇七十九、二五〇八十、二五〇八十一、二五〇八十二、二五〇八十三、二五〇八十四、二五〇八十五、二五〇八十六、二五〇八十七、二五〇八十八、二五〇八十九、二五〇九十、二五〇九十一、二五〇九十二、二五〇九十三、二五〇九十四、二五〇九十五、二五〇九十六、二五〇九十七、二五〇九十八、二五〇九十九、二五〇十十、二五〇十十一、二五〇十十二、二五〇十十三、二五〇十十四、二五〇十十五、二五〇十十六、二五〇十十七、二五〇十十八、二五〇十十九、二五〇二十十、二五〇二十十一、二五〇二十十二、二五〇二十十三、二五〇二十十四、二五〇二十十五、二五〇二十十六、二五〇二十十七、二五〇二十十八、二五〇二十十九、二五〇三十十、二五〇三十十一、二五〇三十十二、二五〇三十十三、二五〇三十十四、二五〇三十十五、二五〇三十十六、二五〇三十十七、二五〇三十十八、二五〇三十十九、二五〇四十十、二五〇四十十一、二五〇四十十二、二五〇四十十三、二五〇四十十四、二五〇四十十五、二五〇四十十六、二五〇四十十七、二五〇四十十八、二五〇四十十九、二五〇五十十、二五〇五十十一、二五〇五十十二、二五〇五十十三、二五〇五十十四、二五〇五十十五、二五〇五十十六、二五〇五十十七、二五〇五十十八、二五〇五十十九、二五〇六十十、二五〇六十十一、二五〇六十十二、二五〇六十十三、二五〇六十十四、二五〇六十十五、二五〇六十十六、二五〇六十十七、二五〇六十十八、二五〇六十十九、二五〇七十十、二五〇七十十一、二五〇七十十二、二五〇七十十三、二五〇七十十四、二五〇七十十五、二五〇七十十六、二五〇七十十七、二五〇七十十八、二五〇七十十九、二五〇八十十、二五〇八十十一、二五〇八十十二、二五〇八十十三、二五〇八十十四、二五〇八十十五、二五〇八十十六、二五〇八十十七、二五〇八十十八、二五〇八十十九、二五〇九十十、二五〇九十十一、二五〇九十十二、二五〇九十十三、二五〇九十十四、二五〇九十十五、二五〇九十十六、二五〇九十十七、二五〇九十十八、二五〇九十十九、二五〇十十十、二五〇十十十一、二五〇十十十二、二五〇十十十三、二五〇十十十四、二五〇十十十五、二五〇十十十六、二五〇十十十七、二五〇十十十八、二五〇十十十九、二五〇二十十十、二五〇二十十十一、二五〇二十十十二、二五〇二十十十三、二五〇二十十十四、二五〇二十十十五、二五〇二十十十六、二五〇二十十十七、二五〇二十十十八、二五〇二十十十九、二五〇三十十十、二五〇三十十十一、二五〇三十十十二、二五〇三十十十三、二五〇三十十十四、二五〇三十十十五、二五〇三十十十六、二五〇三十十十七、二五〇三十十十八、二五〇三十十十九、二五〇四十十十、二五〇四十十十一、二五〇四十十十二、二五〇四十十十三、二五〇四十十十四、二五〇四十十十五、二五〇四十十十六、二五〇四十十十七、二五〇四十十十八、二五〇四十十十九、二五〇五十十十、二五〇五十十十一、二五〇五十十十二、二五〇五十十十三、二五〇五十十十四、二五〇五十十十五、二五〇五十十十六、二五〇五十十十七、二五〇五十十十八、二五〇五十十十九、二五〇六十十十、二五〇六十十十一、二五〇六十十十二、二五〇六十十十三、二五〇六十十十四、二五〇六十十十五、二五〇六十十十六、二五〇六十十十七、二五〇六十十十八、二五〇六十十十九、二五〇七十十十、二五〇七十十十一、二五〇七十十十二、二五〇七十十十三、二五〇七十十十四、二五〇七十十十五、二五〇七十十十六、二五〇七十十十七、二五〇七十十十八、二五〇七十十十九、二五〇八十十十、二五〇八十十十一、二五〇八十十十二、二五〇八十十十三、二五〇八十十十四、二五〇八十十十五、二五〇八十十十六、二五〇八十十十七、二五〇八十十十八、二五〇八十十十九、二五〇九十十十、二五〇九十十十一、二五〇九十十十二、二五〇九十十十三、二五〇九十十十四、二五〇九十十十五、二五〇九十十十六、二五〇九十十十七、二五〇九十十十八、二五〇九十十十九、二五〇十十十十、二五〇十十十十一、二五〇十十十十二、二五〇十十十十三、二五〇十十十十四、二五〇十十十十五、二五〇十十十十六、二五〇十十十十七、二五〇十十十十八、二五〇十十十十九、二五〇二十十十十、二五〇二十十十十一、二五〇二十十十十二、二五〇二十十十十三、二五〇二十十十十四、二五〇二十十十十五、二五〇二十十十十六、二五〇二十十十十七、二五〇二十十十十八、二五〇二十十十十九、二五〇三十十十十、二五〇三十十十十一、二五〇三十十十十二、二五〇三十十十十三、二五〇三十十十十四、二五〇三十十十十五、二五〇三十十十十六、二五〇三十十十十七、二五〇三十十十十八、二五〇三十十十十九、二五〇四十十十十、二五〇四十十十十一、二五〇四十十十十二、二五〇四十十十十三、二五〇四十十十十四、二五〇四十十十十五、二五〇四十十十十六、二五〇四十十十十七、二五〇四十十十十八、二五〇四十十十十九、二五〇五十十十十、二五〇五十十十十一、二五〇五十十十十二、二五〇五十十十十三、二五〇五十十十十四、二五〇五十十十十五、二五〇五十十十十六、二五〇五十十十十七、二五〇五十十十十八、二五〇五十十十十九、二五〇六十十十十、二五〇六十十十十一、二五〇六十十十十二、二五〇六十十十十三、二五〇六十十十十四、二五〇六十十十十五、二五〇六十十十十六、二五〇六十十十十七、二五〇六十十十十八、二五〇六十十十十九、二五〇七十十十十、二五〇七十十十十一、二五〇七十十十十二、二五〇七十十十十三、二五〇七十十十十四、二五〇七十十十十五、二五〇七十十十十六、二五〇七十十十十七、二五〇七十十十十八、二五〇七十十十十九、二五〇八十十十十、二五〇八十十十十一、二五〇八十十十十二、二五〇八十十十十三、二五〇八十十十十四、二五〇八十十十十五、二五〇八十十十十六、二五〇八十十十十七、二五〇八十十十十八、二五〇八十十十十九、二五〇九十十十十、二五〇九十十十十一、二五〇九十十十十二、二五〇九十十十十三、二五〇九十十十十四、二五〇九十十十十五、二五〇九十十十十六、二五〇九十十十十七、二五〇九十十十十八、二五〇九十十十十九、二五〇十十十十十、二五〇十十十十十一、二五〇十十十十十二、二五〇十十十十十三、二五〇十十十十十四、二五〇十十十十十五、二五〇十十十十十六、二五〇十十十十十七、二五〇十十十十十八、二五〇十十十十十九、二五〇二十十十十十、二五〇二十十十十十一、二五〇二十十十十十二、二五〇二十十十十十三、二五〇二十十十十十四、二五〇二十十十十十五、二五〇二十十十十十六、二五〇二十十十十十七、二五〇二十十十十十八、二五〇二十十十十十九、二五〇三十十十十十、二五〇三十十十十十一、二五〇三十十十十十二、二五〇三十十十十十三、二五〇三十十十十十四、二五〇三十十十十十五、二五〇三十十十十十六、二五〇三十十十十十七、二五〇三十十十十十八、二五〇三十十十十十九、二五〇四十十十十十、二五〇四十十十十十一、二五〇四十十十十十二、二五〇四十十十十十三、二五〇四十十十十十四、二五〇四十十十十十五、二五〇四十十十十十六、二五〇四十十十十十七、二五〇四十十十十十八、二五〇四十十十十十九、二五〇五十十十十十、二五〇五十十十十十一、二五〇五十十十十十二、二五〇五十十十十十三、二五〇五十十十十十四、二五〇五十十十十十五、二五〇五十十十十十六、二五〇五十十十十十七、二五〇五十十十十十八、二五〇五十十十十十九、二五〇六十十十十十、二五〇六十十十十十一、二五〇六十十十十十二、二五〇六十十十十十三、二五〇六十十十十十四、二五〇六十十十十十五、二五〇六十十十十十六、二五〇六十十十十十七、二五〇六十十十十十八、二五〇六十十十十十九、二五〇七十十十十十、二五〇七十十十十十一、二五〇七十十十十十二、二五〇七十十十十十三、二五〇七十十十十十四、二五〇七十十十十十五、二五〇七十十十十十六、二五〇七十十十十十七、二五〇七十十十十十八、二五〇七十十十十十九、二五〇八十十十十十、二五〇八十十十十十一、二五〇八十十十十十二、二五〇八十十十十十三、二五〇八十十十十十四、二五〇八十十十十十五、二五〇八十十十十十六、二五〇八十十十十十七、二五〇八十十十十十八、二五〇八十十十十十九、二五〇九十十十十十、二五〇九十十十十十一、二五〇九十十十十十二、二五〇九十十十十十三、二五〇九十十十十十四、二五〇九十十十十十五、二五〇九十十十十十六、二五〇九十十十十十七、二五〇九十十十十十八、二五〇九十十十十十九、二五〇十十十十十十、二五〇十十十十十十一、二五〇十十十十十十二、二五〇十十十十十十三、二五〇十十十十十十四、二五〇十十十十十十五、二五〇十十十十十十六、二五〇十十十十十十七、二五〇十十十十十十八、二五〇十十十十十十九、二五〇二十十十十十十、二五〇二十十十十十十一、二五〇二十十十十十十二、二五〇二十十十十十十三、二五〇二十十十十十十四、二五〇二十十十十十十五、二五〇二十十十十十十六、二五〇二十十十十十十七、二五〇二十十十十十十八、二五〇二十十十十十十九、二五〇三十十十十十十、二五〇三十十十十十十一、二五〇三十十十十十十二、二五〇三十十十十十十三、二五〇三十十十十十十四、二五〇三十十十十十十五、二五〇三十十十十十十六、二五〇三十十十十十十七、二五〇三十十十十十十八、二五〇三十十十十十十九、二五〇四十十十十十十、二五〇四十十十十十十一、二五〇四十十十十十十二、二五〇四十十十十十十三、二五〇四十十十十十十四、二五〇四十十十十十十五、二五〇四十十十十十十六、二五〇四十十十十十十七、二五〇四十十十十十十八、二五〇四十十十十十十九、二五〇五十十十十十十、二五〇五十十十十十十一、二五〇五十十十十十十二、二五〇五十十十十十十三、二五〇五十十十十十十四、二五〇五十十十十十十五、二五〇五十十十十十十六、二五〇五十十十十十十七、二五〇五十十十十十十八、二五〇五十十十十十十九、二五〇六十十十十十十、二五〇六十十十十十十一、二五〇六十十十十十十二、二五〇六十十十十十十三、二五〇六十十十十十十四、二五〇六十十十十十十五、二五〇六十十十十十十六、二五〇六十十十十十十七、二五〇六十十十十十十八、二五〇六十十十十十十九、二五〇七十十十十十十、二五〇七十十十十十十一、二五〇七十十十十十十二、二五〇七十十十十十十三、二五〇七十十十十十十四、二五〇七十十十十十十五、二五〇七十十十十十十六、二五〇七十十十十十十七、二五〇七十十十十十十八、二五〇七十十十十十十九、二五〇八十十十十十十、二五〇八十十十十十十一、二五〇八十十十十十十二、二五〇八十十十十十十三、二五〇八十十十十十十四、二五〇八十十十十十十五、二五〇八十十十十十十六、二五〇八十十十十十十七、二五〇八十十十十十十八、二五〇八十十十十十十九、二五〇九十十十十十十、二五〇九十十十十十十一、二五〇九十十十十十十二、二五〇九十十十十十十三、二五〇九十十十十十十四、二五〇九十十十十十十五、二五〇九十十十十十十六、二五〇九十十十十十十七、二五〇九十十十十十十八、二五〇九十十十十十十九、二五〇十十十十十十十、二五〇十十十十十十十一、二五〇十十十十十十十二、二五〇十十十十十十十三、二五〇十十十十十十十四、二五〇十十十十十十十五、二五〇十十十十十十十六、二五〇十十十十十十十七、二五〇十十十十十十十八、二五〇十十十十十十十九、二五〇二十十十十十十十、二五〇二十十十十十十十一、二五〇二十十十十十十十二、二五〇二十十十十十十十三、二五〇二十十十十十十十四、二五〇二十十十十十十十五、二五〇二十十十十十十十六、二五〇二十十十十十十十七、二五〇二十十十十十十十八、二五〇二十十十十十十十九、二五〇三十十十十十十十、二五〇三十十十十十十十一、二五〇三十十十十十十十二、二五〇三十十十十十十十三、二五〇三十十十十十十十四、二五〇三十十十十十十十五、二五〇三十十十十十十十六、二五〇三十十十十十十十七、二五〇三十十十十十十十八、二五〇三十十十十十十十九、二五〇四十十十十十十十、二五〇四十十十十十十十一、二五〇四十十十十十十十二、二五〇四十十十十十十十三、二五〇四十十十十十十十四、二五〇四十十十十十十十五、二五〇四十十十十十十十六、二五〇四十十十十十十十七、二五〇四十十十十十十十八、二五〇四十十十十十十十九、二五〇五十十十十十十十、二五〇五十十十十十十十一、二五〇五十十十十十十十二、二五〇五十十十十十十十三、二五〇五十十十十十十十四、二五〇五十十十十十十十五、二五〇五十十十十十十十六、二五〇五十十十十十十十七、二五〇五十十十十十十十八、二五〇五十十十十十十十九、二五〇六十十十十十十十、二五〇六十十十十十十十一、二五〇六十十十十十十十二、二五〇六十十十十十十十三、二五〇六十十十十十十十四、二五〇六十十十十十十十五、二五〇六十十十十十十十六、二五〇六十十十十十十十七、二五〇六十十十十十十十八、二五〇六十十十十十十十九、二五〇七十十十十十十十、二五〇七十十十十十十十一、二五〇七十十十十十十十二、二五〇七十十十十十十十三、二五〇七十十十十十十十四、二五〇七十十十十十十十五、二五〇七十十十十十十十六、二五〇七十十十十十十十七、二五〇七十十十十十十十八、二五〇七十十十十十十十九、二五〇八十十十十十十十、二五〇八十十十十十十十一、二五〇八十十十十十十十二、二五〇八十十十十十十十三、二五〇八十十十十十十十四、二五〇八十十十十十十十五、二五〇八十十十十十十十六、二五〇八十十十十十十十七、二五〇八十十十十十十十八、二五〇八十十十十十十十九、二五〇九十十十十十十十、二五〇九十十十十十十十一、二五〇九十十十十十十十二、二五〇九十十十十十十十三、二五〇九十十十十十十十四、二五〇九十十十十十十十五、二五〇九十十十十十十十六、二五〇九十十十十十十十七、二五〇九十十十十十十十八、二五〇九十十十十十十十九、二五〇十十十十十十十十、二五〇十十十十十十十十一、二五〇十十十十十十十十二、二五〇十十十十十十十十三、二五〇十十十十十十十十四、二五〇十十十十十十十十五、二五〇十十十十十十十十六、二五〇十十十十十十十十七、二五〇十十十十十十十十八、二五〇十十十十十十十十九、二五〇二十十十十十十十十、二五〇二十十十十十十十十一、二五〇二十十十十十十十十二、二五〇二十十十十十十十十三、二五〇二十十十十十十十十四、二五〇二十十十十十十十十五、二五〇二十十十十十十十十六、二五〇二十十十十十十十十七、二五〇二十十十十十十十十八、二五〇二十十十十十十十十九、二五〇三十十十十十十十十、二五〇三十十十十十十十十一、二五〇三十十十十十十十十二、二五〇三十十十十十十十十三、二五〇三十十十十十十十十四、二五〇三十十十十十十十十五、二五〇三十十十十十十十十六、二五〇三十十十十十十十十七、二五〇三十十十十十十十十八、二五〇三十十十十十十十十九、二五〇四十十十十十十十十、二五〇四十十十十十十十十一、二五〇四十十十十十十十十二、二五〇四十十十十十十十十三、二五〇四十十十十十十十十四、二五〇四十十十十十十十十五、二五〇四十十十十十十十十六、二五〇四十十十十十十十十七、二五〇四十十十十十十十十八、二五〇四十十十十十十十十九、二五〇五十十十十十十十十、二五〇五十十十十十十十十一、二五〇五十十十十十十十十二、二五〇五十十十十十十十十三、二五〇五十十十十十十十十四、二五〇五十十十十十十十十五、二五〇五十十十十十十十十六、二五〇五十十十十十十十十七、二五〇五十十十十十十十十八、二五〇五十十十十十十十十九、二五〇六十十十十十十十十、二五〇六十十十十十十十十一、二五〇六十十十十十十十十二、二五〇六十十十十十十十十三、二五〇六十十十十十十十十四、二五〇六十十十十十十十十五、二五〇六十十十十十十十十六、二五〇六十十十十十十十十七、二五〇六十十十十十十十十八、二五〇六十十十十十十十十九、二五〇七十十十十十十十十、二五〇七十十十十十十十十一、二五〇七十十十十十十十十二、二五〇七十十十十十十十十三、二五〇七十十十十十十十十四、二五〇七十十十十十十十十五、二五〇七十十十十十十十十六、二五〇七十十十十十十十十七、二五〇七十十十十十十十十八、二五〇七十十十十十十十十九、二五〇八十十十十十十十十、二五〇八十十十十十十十十一、二五〇八十十十十十十十十二、二五〇八十十十十十十十十三、二五〇八十十十十十十十十四、二五〇八十十十十十十十十五、二五〇八十十十十十十十十六、二五〇八十十十十十十十十七、二五〇八十十十十十十十十八、二五〇八十十十十十十十十九、二五〇九十十十十十十十十、二五〇九十十十十十十十十一、二五〇九十十十十十十十十二、二五〇九十十十十十十十十三、二五〇九十十十十十十十十四、二五〇九十十十十十十十十五、二五〇九十十十十十十十十六、二五〇九十十十十十十十十七、二五〇九十十十十十十十十八、二五〇九十十十十十十十十九、二五〇十十十十十十十十十、二五〇十十十十十十十十十一、二五〇十十十十十十十十十二、二五〇十十十十十十十十十三、二五〇十十十十十十十十十四、二五〇十十十十十十十十十五、二五〇十十十十十十十十十六、二五〇十十十十十十十十十七、二五〇十十十十十十十十十八、二五〇十十十十十十十十十九、二五〇二十十十十十十十十十、二五〇二十十十十十十十十十一、二五〇二十十十十十十十十十二、二五〇二十十十十十十十十十三、二五〇二十十十十十十十十十四、二五〇二十十十十十十十十十五、二五〇二十十十十十十十十十六、二五〇二十十十十十十十十十七、二五〇二十十十十十十十十十八、二五〇二十十十十十十十十十九、二五〇三十十十十十十十十十、二五〇三十十十十十十十十十一、二五〇三十十十十十十十十十二、二五〇三十十十十十十十十十三、二五〇三十十十十十十十十十四、二五〇三十十十十十十十十十五、二五〇三十十十十十十十十十六、二五〇三十十十十十十十十十七、二五〇三十十十十十十十十十八、二五〇三十十十十十十十十十九、二五〇四十十十十十十十十十、二五〇四十十十十十十十十十一、二五〇四十十十十十十十十十二、二五〇四十十十十十十十十十三、二五〇四十十十十十十十十十四、二五〇四十十十十十十十十十五、二五〇四十十十十十十十十十六、二五〇四十十十十十十十十十七、二五〇四十十十十十十十十十八、二五〇四十十十十十十十十十九、二五〇五十十十十十十十十十、二五〇五十十十十十十十十十一、二五〇五十十十十十十十十十二、二五〇五十十十十十十十十十三、二五〇五十十十十十十十十十四、二五〇五十十十十十十十十十五、二五〇五十十十十十十十十十六、二五〇五十十十十十十十十十七、二五〇五十十十十十十十十十八、二五〇五十十十十十十十十十九、二五〇六十十十十十十十十十、二五〇六十十十十十十十十十一、二五〇六十十十十十十十十十二、二五〇六十十十十十十十十十三、二五〇六十十十十十十十十十四、二五〇六十十十十十十十十十五、二五〇六十十十十十十十十十六、二五〇六十十十十十十十十十七、二五〇六十十十十十十十十十八、二五〇六十十十十十十十十十九、二五〇七十十十十十十十十十、二五〇七十十十十十十十十十一、二五〇七十十十十十十十十十二、二五〇七十十十十十十十十十三、二五〇七十十十十十十十十十四、二五〇七十十十十十十十十十五、二五〇七十十十十十十十十十六、二五〇七十十十十十十十十十七、二五〇七十十十十十十十十十八、二五〇七十十十十十十十十十九、二五〇八十十十十十十十十十、二五〇八十十十十十十十十十一、二五〇八十十十十十十十十十二、二五〇八十十十十十十十十十三、二五〇八十十十十十十十十十四、二五〇八十十十十十十十十十五、二五〇八十十十十十十十十十六、二五〇八十十十十十十十十十七、二五〇八十十十十十十十十十八、二五〇八十十十十十十十十十九、二五〇九十十十十十十十十十、二五〇九十十十十十十十十十一、二五〇九十十十十十十十十十二、二五〇九十十十十十十十十十三、二五〇九十十十十十十十十十四、二五〇九十十十十十十十十十五、二五〇九十十十十十十十十十六、二五〇九十十十十十十十十十七、二五〇九十十十十十十十十十八、二五〇九十十十十十十十十十九、二五〇十十十十十十十十十十、二五〇十十十十十十十十十十一、二五〇十十十十十十十十十十二、二五〇十十十十十十十十十十三、二五〇十十十十十十十十十十四、二五〇十十十十十十十十十十五、二五〇十十十十十十十十十十六、二五〇十十十十十十十十十十七、二五〇十十十十十十十十十十八、二五〇十十十十十十十十十十九、二五〇二十十十十十十十十十十、二五〇二十十十十十十十十十十一、二五〇二十十十十十十十十十十二、二五〇二十十十十十十十十十十三、二五〇二十十十十十十十十十十四、二五〇二十十十十十十十十十十五、二五〇二十十十十十十十十十十六、二五〇二十十十十十十十十十十七、二五〇二十十十十十十十十十十八、二五〇二十十十十十十十十十十九、二五〇三十十十十十十十十十十、二五〇三十十十十十十十十十十一、二五〇三十十十十十十十十十十二、二五〇三十十十十十十十十十十三、二五〇三十十十十十十十十十十四、二五〇三十十十十十十十十十十五、二五〇三十十十十十十十十十十六、二五〇三十十十十十十十十十十七、二五〇三十十十十十十十十十十八、二五〇三十十十十十十十十十十九、二五〇四十十十十十十十十十十、二五〇四十十十十十十十十十十一、二五〇四十十十十十十十十十十二、二五〇四十十十十十十十十十十三、二五〇四十十十十十十十十十十四、二五〇四十十十十十十十十十十五、二五〇四十十十十十十十十十十六、二五〇四十十十十十十十十十十七、二五〇四十十十十十十十十十十八、二五〇四十十十十十十十十十十九、二五〇五十十十十十十十十十十、二五〇五十十十十十十十十十十一、二五〇五十十十十十十十十十十二、二五〇五十十十十十十十十十十三、二五〇五十十十十十十十十十十四、二五〇五十十十十十十十十十十五、二五〇五十十十十十十十十十十六、二五〇五十十十十十十十十十十七、二五〇五十十十十十十十十十十八、二五〇五十十十十十十十十十十九、二五〇六十十十十十十十十十十、二五〇六十十十十十十十十十十一、二五〇六十十十十十十十十十十二、二五〇六十十十十十十十十十十三、二五〇六十十十十十十十十十十四、二五〇六十十十十十十十十十十五、二五〇六十十十十十十十十十十六、二五〇六十十十十十十十十十十七、二五〇六十十十十十十十十十十八、二五〇六十十十十十十十十十十九、二五〇七十十十十十十十十十十、二五〇七十十十十十十十十十十一、二五〇七十十十十十十十十十十二、二五〇七十十十十十十十十十十三、二五〇七十十十十十十十十十十四、二五〇七十十十十十十十十十十五、二五〇七十十十十十十十十十十六、二五〇七十十十十十十十十十十七、二五〇七十十十十十十十十十十八、二五〇七十十十十十十十十十十九、二五〇八十十十十十十十十十十、二五〇八十十十十十十十十十十一、二五〇八十十十十十十十十十十二、二五〇八十十十十十十十十十十三、二五〇八十十十十十十十十十十四、二五〇八十十十十十十十十十十五、二五〇八十十十十十十十十十十六、二五〇八十十十十十十十十十十七、二五〇八十十十十十十十十十十八、二五〇八十十十十十十十十十十九、二五〇九十十十十十十十十十十、二五〇九十十十十十十十十十十一、二五〇九十十十十十十十十十十二、二五〇九十十十十十十十十十十三、二五〇九十十十十十十十十十十四、二五〇九十十十十十十十十十十五、二五〇九十十十十十十十十十十六、二五〇九十十十十十十十十十十七、二五〇九十十十十十十十十十十八、二五〇九十十十十十十十十十十九、二五〇十十十十十十十十十十十、二五〇十十十十十十十十十十十一、二五〇十十十十十十十十十十十二、二五〇十十十十十十十十十十十三、二五〇十十十十十十十十十十十四、二五〇十十十十十十十十十十十五、二五〇十十十十十十十十十十十六、二五〇十十十十十十十十十十十七、二五〇十十十十十十十十十十十八、二五〇十十十十十十十十十十十九、二五〇二十十十十十十十十十十十、二五〇二十十十十十十十十十十十一、二五〇二十十十十十十十十十十十二、二五〇二十十十十十十十十十十十三、二五〇二十十十十十十十十十十十四、二五〇二十十十十十十十十十十十五、二五〇二十十十十十十十十十十十六、二五〇二十十十十十十十十十十十七、二五〇二十十十十十十十十十十十八、二五〇二十十十十十十十十十十十九、二五〇三十十十十十十十十十十十、二五〇三十十十十十十十十十十十一、二五〇三十十十十十十十十十十十二、二五〇三十十十十十十十十十十十三、二五〇三十十十十十十十十十十十四、二五〇三十十十十十十十十十十十五、二五〇三十十十十十十十十十十十六、二五〇三十十十十十十十十十十十七、二五〇三十十十十十十十十十十十八、二五〇三十十十十十十十十十十十九、二五〇四十十十十十十十十十十十、二五〇四十十十十十十十十十十十一、二五〇四十十十十十十十十十十十二、二五〇四十十十十十十十十十十十三、二五〇四十十十十十十十十十十十四、二五〇四十十十十十十十十十十十五、二五〇四十十十十十十十十十十十六、二五〇四十十十十十十十十十十十七、二五〇四十十十十十十十十十十十八、二五〇四十十十十十十十十十十十九、二五〇五十十十十十十十十十十十、二五〇五十十十十十十十十十十十一、二五〇五十十十十十十十十十十十二、二五〇五十十十十十十十十十十十三、二五〇五十十十十十十十十十十十四、二五〇五十十十十十十十十十十十五、二五〇五十十十十十十十十十十十六、二五〇五十十十十十十十十十十十七、二五〇五十十十十十十十十十十十八、二五〇五十十十十十十十十十十十九、二五〇六十十十十十十十十十十十、二五〇六十十十十十十十十十十十一、二五〇六十十十十十十十十十十十二、二五〇六十十十十十十十十十十十三、二五〇六十十十十十十十十十十十四、二五〇六十十十十十十十十十十十五、二五〇六十十十十十十十十十十十六、二五〇六十十十十十十十十十十十七、二五〇六十十十十十十十十十十十八、二五〇六十十十十十十十十十十十九、二五〇七十十十十十十十十十十十、二五〇七十十十十十十十十十十十一、二五〇七十十十十十十十十十十十二、二五〇七十十十十十十十十十十十三、二五〇七十十十十十十十十十十十四、二五〇七十十十十十十十十十十十五、二五〇七十十十十十十十十十十十六、二五〇七十十十十十十十十十十十七、二五〇七十十十十十十十十十十十八、二五〇七十十十十十十十十十十十九、二五〇八十十十十十十十十十十十、二五〇八十十十十十十十十十十十一、二五〇八十十十十十十十十十十十二、二五〇八十十十十十十十十十十十三、二五〇八十十十十十十十十十十十四、二五〇八十十十十十十十十十十十五、二五〇八十十十十十十十十十十十六、二五〇八十十十十十十十十十十十七、二五〇八十十十十十十十十十十十八、二五〇八十十十十十十十十十十十九、二五〇九十十十十十十十十十十十、二五〇九十十十十十十十十十十十一、二五〇九十十十十十十十十十十十二、二五〇九十十十十十十十十十十十三、二五〇九十十十十十十十十十十十四、二五〇九十十十十十十十十十十十五、二五〇九十十十十十十十十十十十六、二五〇九十十十十十十十十十十十七、二五〇九十十十十十十十十十十十八、二五〇九十十十十十十十十十十十九、二五〇十十十十十十十十十十十十、二五〇十十十十十十十十十十十十一、二五〇十十十十十十十十十十十十二、二五〇十十十十十十十十十十十十三、二五〇十十十十十十十十十十十十四、二五〇十十十十十十十十十十十十五、二五〇十十十十十十十十十十十十六、二五〇十十十十十十十十十十十十七、二五〇十十十十十十十十十十十十八、二五〇十十十十十十十十十十十十九、二五〇二十十十十十十十十十十十十、二五〇二十十十十十十十十十十十十一、二五〇二十十十十十十十十十十十十二、二五〇二十十十十十十十十十十十十三、二五〇二十十十十十十十十十十十十四、二五〇二十十十十十十十十十十十十五、二五〇二十十十十十十十十十十十十六、二五〇二十十十十十十十十十十十十七、二五〇二十十十十十十十十十十十十八、二五〇二十十十十十十十十十十十十九、二五〇三十十十十十十十十十十十十、二五〇三十十十十十十十十十十十十一、二五〇三十十十十十十十十十十十十二、二五〇三十十十十十十十十十十十十三、二五〇三十十十十十十十十十十十十四、二五〇三十十十十十十十十十十十十五、二五〇三十十十十十十十十十十十十六、二五〇三十十十十十十十十十十十十七、二五〇三十十十十十十十十十十十十八、二五〇三十十十十十十十十十十十十九、二五〇四十十十十十十十十十十十十、二五〇四十十十十十十十十十十十十一、二五〇四十十十十十十十十十十十十二、二五〇四十十十十十十十十十十十十三、二五〇四十十十十十十十十十十十十四、二五〇四十十十十十十十十十十十十五、二五〇四十十十十十十十十十十十十六、二五〇四十十十十十十十十十十十十七、二五〇四十十十十十十十十十十十十八、二五〇四十十十十十十十十十十十十九、二五〇五十十十十十十十十十十十十、二五〇五十十十十十十十十十十十十一、二五〇五十十十十十十十十十十十十二、二五〇五十十十十十十十十十十十十三、二五〇五十十十十十十十十十十十十四、二五〇五十十十十十十十十十十十十五、二五〇五十十十十十十十十十十十十六、二五〇五十十十十十十十十十十十十七、二五〇五十十十十十十十十十十十十八、二五〇五十十十十十十十十十十十十九、二五〇六十十十十十十十十十十十十、二五〇六十十十十十十十十十十十十一、二五〇六十十十十十十十十十十十十二、二五〇六十十十十十十十十十十十十三、二五〇六十十十十十十十十十十十十四、二五〇六十十十十十十十十十十十十五、二五〇六十十十十十十十十十十十十六、二五〇六十十十十十十十十十十十十七、二五〇六十十十十十十十十十十十十八、二五〇六十十十十十十十十十十十十九、二五〇七十十十十十十十十十十十十、二五〇七十十十十十十十十十十十十一、二五〇七十十十十十十十十十十十十二、二五〇七十十十十十十十十十十十十三、二五〇七十十十十十十十十十十十十四、二五〇七十十十十十十十十十十十十五、二五〇七十十十十十十十十十十十十六、二五〇七十十十十十十十十十十十十七、二五〇七十十十十十十十十十十十十八、二五〇七十十十十十十十十十十十十九、二五〇八十十十十十十十十十十十十、二五〇八十十十十十十十十十十十十一、二五〇八十十十十十十十十十十十十二、二五〇八十十十十十十十十十十十十三、二五〇八十十十十十十十十十十十十四、二五〇八十十十十十十十十十十十十五、二五〇八十十十十十十十十十十十十六、二五〇八十十十十十十十十十十十十七、二五〇八十十十十十十十十十十十十八、二五〇八十十十十十十十十十十十十九、二五〇九十十十十十十十十十十十十、二五〇九十十十十十十十十十十十十一、二五〇九十十十十十十十十十十十十二、二五〇九十十十十十十十十十十十十三、二五〇九十十十十十十十十十十十十四、二五〇九十十十十十十十十十十十十五、二五〇九十十十十十十十十十十十十六、二五〇九十十十十十十十十十十十十七、二五〇九十十十十十十十十十十十十八、二五〇九十十十十十十十十十十十十九、二五〇十十十十十十十十十十十十十、二五〇十十十十十十十十十十十十十一、二五〇十十十十十十十十十十十十十二、二五〇十十十十十十十十十十十十十三、二五〇十十十十十十十十十十十十十四、二五〇十十十十十十十十十十十十十五、二五〇十十十十十十十十十十十十十六、二五〇十十十十十十十十十十十十十七、二五〇十十十十十十十十十十十十十八、二五〇十十十十十十十十十十十十十九、二五〇二十十十十十十十十十十十十十、二五〇二十十十十十十十十十十十十十一、二五〇二十十十十十十十十十十十十十二、二五〇二十十十十十十十十十十十十十三、二五〇二十十十十十十十十十十十十十四、二五〇二十十十十十十十十十十十十十五、二五〇二十十十十十十十十十十十十十六、二五〇二十十十十十十十十十十十十十七、二五〇二十十十十十十十十十十十十十八、二五〇二十十十十十十十十十十十十十九、二五〇三十十十十十十十十十十十十十、二五〇三十十十十十十十十十十十十十一、二五〇三十十十十十十十十十十十十十二、二五〇三十十十十十十十十十十十十十三、二五〇三十十十十十十十十十十十十十四、二五〇三十十十十十十十十十十十十十五、二五〇三十十十十十十十十十十十十十六、二五〇三十十十十十十十十十十十十十七、二五〇三十十十十十十十十十十十十十八、二五〇三十十十十十十十十十十十十十九、二五〇四十十十十十十十十十十十十十、二五〇四十十十十十十十十十十十十十一、二五〇四十十十十十十十十十十十十十二、二五〇四十十十十十十十十十十十十十三、二五〇四十十十十十十十十十十十十十四、二五〇四十十十十十十十十十十十十十五、二五〇四十十十十十十十十十十十十十六、二五〇四十十十十十十十十十十十十十七、二五〇四十十十十十十十十十十十十十八、二五〇四十十十十十十十十十十十十十九、二五〇五十十十十十十十十十十十十十、二五〇五十十十十十十十十十十十十十一、二五〇五十十十十十十十十十十十十十二、二五〇五十十十十十十十十十十十十十三、二五〇五十十十十十十十十十十十十十四、二五〇五十十十十十十十十十十十十十五、二五〇五十十十十十十十十十十十十十六、二五〇五十十十十十十十十十十十十十七、二五〇五十十十十十十十十十十十十十八、二五〇五十十十十十十十十十十十十十九、二五〇六十十十十十十十十十十十十十、二五〇六十十十十十十十十十十十十十一、二五〇六十十十十十十十十十十十十十二、二五〇六十十十十十十十十十十十十十三、二五〇六十十十十十十十十十十十十十四、二五〇六十十十十十十十十十十十十十五、二五〇六十十十十十十十十十十十十十六、二五〇六十十十十十十十十十十十十十七、二五〇六十十十十十十十十十十十十十八、二五〇六十十十十十十十十十十十十十九、二五〇七十十十十十十十十十十十十十、二五〇七十十十十十十十十十十十十十一、二五〇七十十十十十十十十十十十十十二、二五〇七十十十十十十十十十十十十十三、二五〇七十十十十十十十十十十十十十四、二五〇七十十十十十十十十十十十十十五、二五〇七十十十十十十十十十十十十十六、二五〇七十十十十十十十十十十十十十七、二五〇七十十十十十十十十十十十十十八、二五〇七十十十十十十十十十十十十十九、二五〇八十十十十十十十十十十十十十、二五〇八十十十十十十十十十十十十十一、二五〇八十十十十十十十十十十十十十二、二五〇八十十十十十十十十十十十十十三、二五〇八十十十十十十十十十十十十十四、二五〇八十十十十十十十十十十十十十五、二五〇八十十十十十十十十十十十十十六、二五〇八十十十十十十十十十十十十十七、二五〇八十十十

黒沢部隊（『戦陣の夢』）

「部隊は隊員である中国人の密偵を深く奥地に放って、その情報を集め、また時に細菌をばらまいては民心を攪乱するなど、諜報謀略活動を行っていた。・・・部隊を維持するため、師団司令部から軍事費の一部を支出してもらったほかに、自らの努力により、敵地から日本軍占領地帯内に物資を搬入し、それを上海や杭州などの主要都市のヤミ市場で処分し

で、戦

民国 32 年(1943)侵浙日军第二十二师团兵力、驻地

番　号	主　官	兵　力（人数）	驻　地
二十二师团	矶田三郎	25200	金华等地
炮兵联队	松　田	2894	金华城郊
骑兵联队	高　桥	450	金华、兰溪、武义
辎重联队	井　田	2705	金华城郊
八十四联队	深　野	3747	金华、兰溪
八十五联队	能　势	3747	武义、兰溪
八十六联队	中　川	3747	义(乌)东一带
工兵联队	佐佐木军	672	金武公路沿线
工兵联队	松　田	1000	金杭公路沿线
宪兵队	南追田中	200	金华、兰溪、武义、义乌
黑泽部队（宣传部队）	黑　泽	1500	金华、兰溪、武义、浦江
黑络部队（便衣特工队）	黑　络	1000	金华、兰溪

㋭

では原爆はどうであったのだろうか。原爆投下直後の八月一〇日に日本政府はスイスを経由してアメリカ政府に対して抗議文を提出していた。それはアメリカ軍の無差別爆撃を「国際法および人道の根本原則を無視」したものと非難し、原爆についてはその使用を放棄するよう求めた。「抑々交戦者は害敵手段の選択につき無制限の権利を有するものに非ざること及び不必要の苦痛を与ふべき兵器、投射物其他の物質を使用すべからざることは戦時国際法の根本原則」であり、それは害敵手段の制限を謳った陸戦法規第二二条及び第二三条ホ号に明記されている。原爆は国際法で使用を禁止されている毒ガスなど以上に「無差別性」「惨虐性」が強いから、この「非人道的兵器」の使用を放棄すべきだというのである。第二三条ホ号とは「不必要ノ苦痛ヲ与フヘキ兵器、投射物其ノ他ノ物質ヲ使用スルコト」の禁止を謳った条項である(蛇足ながら、日中戦争において日本軍は細菌戦を「ホ号」あるいは「㋭」と称したが、それはこの条項によったのだろう)。日本政府は原爆の使用放棄要求の法的根拠を、無差別爆撃の禁止に関わるハーグ陸戦法規第二五条あるいはハーグ空戦法規案ではなく、害敵手段の制

細菌戦裁判第一審が認定した細菌戦被害

細菌戦実施日	被害地	病名	被害者人数	備考
1940年10月4日	浙江省衢県(州)	ペスト	1501	飛行機からペスト蚤を散布
1941年9月	浙江省義烏	ペスト	309	衢県からの伝播
1941年10月	浙江省東陽	ペスト	40以上	義烏から伝播
1941年10 月	浙江省崇山村	ペスト	396	義烏から伝播
1942年10月	浙江省塔下洲	ペスト	103	崇山村から伝播
1940年10月下旬	浙江省寧波	ペスト	109	飛行機からペスト蚤を散布
1941年11月4日	湖南省常徳	ペスト	7643	飛行機からペスト蚤を散布
1942年	浙江省江山	コレラ	37	コレラ菌付着餅等の地上散布

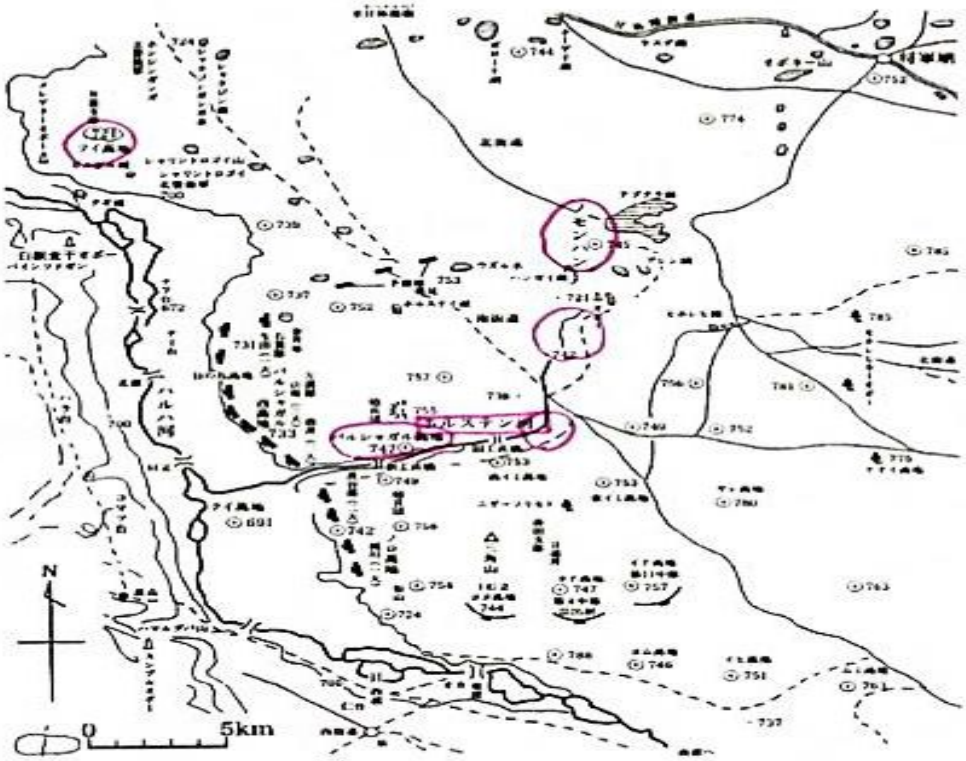
第1表 既往作戦効果概見表

攻撃	目標	PX kg	効果		1.0kg換算値		
			一次	二次	Rpr	R	Cep
15. 6. 4	農安	0.005	8	607	1600	123,000	76.9
15. 6. 4~7	農安大賚	0.010	12	2424	1200	243,600	203.0
15. 10. 4	衢県	8.0	219	9060	26	1,159	44.2
15. 10. 27	寧波	2.0	104	1450	52	777	14.9
16. 11. 4	常徳	1.6	310	2500	194	1,756	9.1
17. 8. 19~21	廣信廣豊玉山	0.131	42	9210	321	22,550	70.3

PX（ペスト感染ノミ）効果（罹患致死数）一次（第一次流行）　二次（第二次流行）
Rpr（第一次感染者数）R（感染者総数）Cep（流行係数）　廣信廣豊玉山の9210は2910の誤植
Pはペスト　XはXenopsylla cheopis（ケオピスネズミノミ）

① ノモンハン細菌戦

1939年5月から同年9月にかけて、「満州国」とモンゴル人民共和国・ソ連の間の国境紛争のこと。
部長以下995名を以て防疫給水部を編成給水活動と細菌戦　井上軍医大尉以下数10名の犠牲者をだした。
（防疫研究報告2－99）　感状を授与された。



昭和十二年八月以降ノ主ナル細菌戰略及攻撃一覽表

	年月日	場所	種類	方法	備考
1	十二年八月	楊柳行子家宅	コレラ菌	井戸ニ投入ス	
2	同年九月七日	貴山城	コレラ菌	井戸ニ投入ス	日軍及住民數千罹患
3	同年十一月十八日	遼定	炭疽菌	クリーク ニ汚染	
4	同年十二月廿三日	南京	炭疽菌	貯水中ニ投入ス	
5	十三年七月十四日	開封	コレラ菌	井水ニ投入ス	十六名罹患
6	同年七月廿六日	九江	コレラ菌	井戸ニ投入ス	日軍百二十九名、住民約五百名罹患
7	同年八月	華天	コレラ菌	マクワ瓜ニ注入ス	日人一名、滿人若干名罹患
8	同年八月六日	石家莊	コレラ菌	井戸ニ投入ス	住民多數罹患
9	十四年七月廿八日～十三日	ホルステン河上流	赤痢菌	爆弾攻撃	
10	同年七月廿三日	バルジャガル高地一帯	赤痢菌	南下	
11	同年七月十日頃（數回）	ノモンハン附近	赤痢菌 其ノ他	三中ヨリスルタン采撒布	
12	同年八月中旬	ホルステン河屈曲點及上流地區	〃	噴霧式タンクヨリノ噴射	
13	同	ツイ高地附近	〃	同	
14	同年八月	博山	コレラ菌	ウタシン容器中ニ貯フ（瓜ニ注入？）	
15	同年八月十四日	京里村（石家莊西方）	コレラ菌	井戸ニ投入	
16	昭和十六年七月下旬～八月下旬	興安北省（海拉爾一帯）及ワ合ム 黑江省安達附近	炭疽菌	家畜飼料汚染	
17	同年七月廿八日～八月下旬	紅色爾基	コレラ菌	給水ニ混入セシム（？）	滿人八百三十名（内二百名罹患、約半数死亡）
18	同年九月一～十一月	滿ソ國境方面	日軍細菌戰部隊	〃	馬六〇、牛一二〇、羊一三〇〇頭ヲ屠殺シ、一食千人分ノ肉ヲ以テ四林業組合ニ納ム

② 1940年ハルビンチフス？　細菌戦のようだが確かな証拠はまだない。

戦後、元隊員が、富士高女関係者の店に現れて細菌戦であったと告げた。

民間の流行

6月9日発生、民間の患者で3000人と推定されているハルビンのチフスは、全貌を調査研究した報告書が見当たらない。

市当局届け出(7月19日)　1043名　死亡96　　9月にも多数の患者発生

日本人819　朝鮮人68　満人(中国人)116　ロシア人70　　計1043

6月中旬　女学校寄宿舎40余名に爆発的に流行　生徒20名　先生2名死亡

食事に生野菜の中華風サラダ

ハルビン駐屯の軍隊内に流行

どこの部隊か不明　報告書が見当たらない

6月14日から以降4日間に約300名の患者

7月9日、患者699名　死亡率20%

同一井戸の2部隊のうちの一夜漬け(青菜)を食べた部隊に発生

？なぜ同じ食事内容ではないのか

同部隊と野菜系統を同じにする北安部隊にも発生

7月上旬、東齋街(中央市場)付近の満人1万につき真に徹底して調査した某軍人

ハルビン市内南崗市場、道外東來市場の赤大根、葱、白菜、ほうれん草、杓子菜よりチフス類似菌

7月8日　早川軍医　三棵樹の池水かからチフス菌を証明　流行菌と一致

症状は重篤激甚　菌は下条氏の第一菌型

患者に日本人が多い→報告書の随所に計画的流行、適性行為等記述　ソ連を暗示

731 部隊のうわさも

だが、そのうちに母の気持ちがわかった。その夏、ハルビンではとつじょとしてチフスや赤痢がはやり、日本人は数百人が感染し数十人の死者が出た。中国人の死者はケタちがいに多かっただろう。富士高女では二〇人の生徒と二人の教師が犠牲者になった。これから先、どんな事態になるか予想もつかない。メディアが発達していない社会だから、確実な情報はどこからも伝わってこない。口伝えのうわさは、事実を誇張し不安を拡大する。身近にせまってくる死への恐怖が、母をあのような行動にかりたてたのだろう。

戦前、奉天で発行されていた『満州日日新聞』は国会図書館に現在も保存されていて、読むことができる。

七月三日の『満州日日新聞』夕刊は「哈爾浜の各小学　遂に臨時休校　伝染病全市に猛る」という見出しで「六〇万人市民を極度に戦慄せしめている」と報じている。

以前から満州ではチフスや赤痢は珍しい病気ではなかったが、この夏のように、とつぜん伝染病が蔓延し、短期間に多数の死亡患者を出したのは例外的なことだった。七月一〇日の『満州日日新聞』七面は、溥儀皇帝が訪日を終えて新京に帰還したという記事の下に、つぎのような記事をのせている(原文は旧カナづかい。注は筆者)。

「哈市のチフス病源　野菜原産地の溜池と判る」

哈爾浜に暴威を揮うチフスの発源地については軍官民関係当局を挙げて協力、涙ぐましい調査をつづけていたが、遂にその努力が報いられ、九日午後四時当局はその内容を発表、市民の不安を除くとともに更に一層の注意を喚起したが、茲に今次チフスの防疫根本対策も確立されることとなった。

【当局発表】去る六月中旬より同下旬に亘り罹患者六百数十名に達し、更に今なお猖獗蔓延の一途を辿り、市民をして戦慄の深淵に伸吟せしめつつある腸チフスは、その罹患者の多数が成壮年の女子に多く、更に死亡率高き点等の如きは従来その例を見ず、これが原因の探究に関しては防疫対策の根本的究明事項として軍官民関係当局一体となり昼夜兼行、真に不眠不休の活動をつづけつつありしが、去る六月二八日満赤西山院長は南崗市場および東菜市場に発売中の赤大根、ネギ、白菜、ホウレン草、シャクシ菜より腸チフス類似菌を証明し、更に追試中のところ赤大根より証明せられたる菌は、今次流行の腸チフス菌と全く同一種なること立証せられ、茲に野菜を介して伝播せる事実を裏書せられたり(略)」

その後に奇怪な文がつづいている。

「茲においてその汚染源を市内に搬入前の洗滌溜池水にあらざるやと察知し、郊外の野菜原産地付近の溜池を探し、探究中のところ七月七日三棵樹野菜原産地付近の溜り水より明確に腸チフス菌を証明せられ、茲に野菜濃厚汚染の源を確認せることを得たり、因みに該当溜池は恰かも市営糞尿処理場に近接し、その周囲の不潔なる言語を絶す、しかも該溜池水を利用して行われたる敵性害毒行為を疑わしむるものなきにあらず、仮りに然らずと

全く同一種なること立証せられ、茲に野菜を介して伝播せる事実を裏書せられたり(略)」

その後に奇怪な文がつづいている。

「茲においてその汚染源を市内に搬入前の洗滌溜池水にあらざるやと察知し、郊外の野菜原産地付近の溜池を探し、探究中のところ七月七日三棵樹野菜原産地付近の溜り水より明確に腸チフス菌を証明せられ、茲に野菜濃厚汚染の源を確認せることを得たり、因みに該当溜池は恰かも市営糞尿処理場に近接し、その周囲の不潔なる言語を絶す、しかも該溜池水を利用して行われたる敵性害毒行為を疑わしむるものなきにあらず、仮りに然らずとするも将来戦においては、この種行為の実現は最も確率高き可能事と推断せざるべからず、斯かる現状を荏苒(そのまま)放置しあれば齎らさるべき災禍は今回の惨状を凌ぐものあらんこと想像に難からず、将来一朝有事の砌(とき)更に大規模の敵性害毒行為を受くる場合寒心に耐えざるものあり(略)」

つまり、疫病の感染菌は野菜などを洗う水に使っていた溜池の中にあり、それは外敵が投げ入れた可能性がある、というのである。こうした記事のためだろう、ハルビンでは「ロシアのスパイが病原菌を投げ入れたらしい」というわさが流れていた。

しかし、事実は、七三一部隊が実験のために溜池に病原菌を入れたものだったようだ。森村誠一の『新版・悪魔の飽食』(角川書店)によると、チフス発生地域には「消毒・患者隔離と住民検診に入った第七三一部隊診療部員とともに、多数の関東軍憲兵隊員、特務機関員、および工兵隊員が派遣された」とある。病原菌が発見された溜池は中国人街の北東にある。中国人を対象とした実験が拡散して、日本人社会にパニックを引きおこした可能性は高い。

「T6菌ハ昭和8年背陰河ニ於テ分離シ本研究室所蔵ノ同種菌中最モ毒性強キ菌株ニシテ現在4種混合ワクチン用菌株ニ使用中ノモノナリ。」

(『中学生の満州敗戦日記』岩波ジュニア新書)

(陸軍軍医学校防疫研究報告　第2部　第541号　四種混合予防接種液ノ改善ニ関スル研究　第1報「チフス菌ニ関スル研究

陸軍軍医学校軍陣防疫学教室(主任　増田大佐)

陸軍軍医少佐　高橋傅　受付　昭和18. 5. 24

担任指導　陸軍軍医大佐　井上隆朝　陸軍軍医中佐　早川清)

第 6 表

菌株	数量	分離場所	分離年月日	摘要
チフス菌	62	哈爾賓第一陸軍病院	昭 15. 10. 10	満洲國北方地域ニ流行ス。
〃	48	加茂部隊(731部隊)	15. 10. 17	北満方面ニテ分離セルモノ。
〃	40	中支第18防疫給水部	14. 4. 28	長江ヲ中心トシテ分離セルモノ。
〃	10	佛印株	16. 4. 5	
〃	1	白川部隊株	14. 4. 21	中支方面分離
〃	1	井上部隊株	14. 9. 13	廣東ニテ分離
〃	4	廣東第1次株	14. 5. 18	
〃	2	廣東第2次株	14. 10. 25	
〃	3	滿洲解除部隊株	9	
〃	4	東京市淀橋區角筈町	9. 7.	(冷ヤッコ)
〃	4	新潟醫大	10. 3. 11	
〃	5	東北帝大	10. 4. 15	
〃	3	大阪醫大	10. 3. 16	
〃	3	京都帝大	10. 3. 16	
〃	7	金澤醫大	10. 3. 5	
〃	10	名古屋衛生試驗所	10. 3. 18	
〃	4	盛南陸軍病院	16. 12. 20	
〃	1	薩親王		

總計213株ニシテ分離個所ハ(生物學性狀ノ項アリ)
血液、尿、糞便ニシテ爾後普通寒天ニ累代培養セルモノナリ。
實驗ニ際シテ20代血液寒天ニ培養ス。

③ 農安・大賚細菌戦 ④ 農安細菌戦

1940年当時、731部隊が細菌戦を実行するにあたって、未知・未解決の問題が多くあった。

少なくとも三つの問題の解明に向けて、農安細菌戦と農安・大賚細菌戦は実施された。そして「農安・大賚」と「農安(県庁所在地)」に分けて流行実験を行ったのはなぜか？

1　実際に人為的な流行を起こせるか。ペスト流行地での細菌戦の効果を調査。

・従来の流行の程度に基づき流行初期に使用すれば最も効果が大きく、流行期間に於いては目標の
気象及び従来の流行終息状況に応じて多少の効果があるものと想定していた。

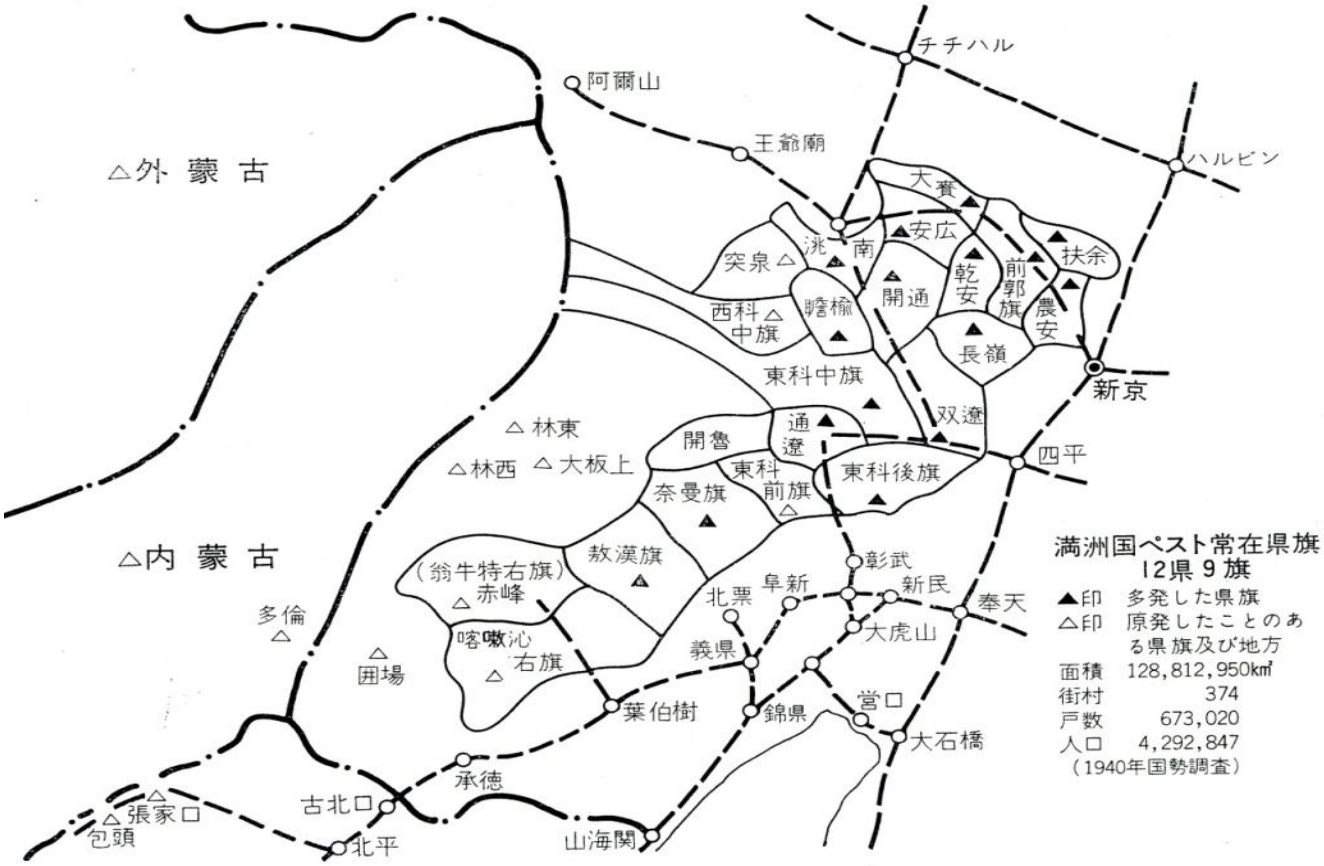
・ペスト流行地の中で、市街地(農安県城)と沙地草原起伏地帯に点在する農村(農安・大賚)という異なる環境下でのペスト流行を比較することである。

そして、「農安・大賚」地域は広大な農村地帯であるために、追跡調査は一部地域にしか行えない、人口３万人の「農安」は城壁で囲まれており、詳細な調査が可能であると考えたのではないか。

実際に、高橋正彦(ペスト班班長)による報告書「昭和15年農安及新京ニ発生セル『ペスト』流行ニ就テ」(陸軍軍医学校防疫研究報告)には、「農安・大賚」のデータは少なく、「農安」では膨大なデータによる分析がなされている。農安から新京に伝播したペストについても同様に詳しい調査・分析を行っている。

2　人へのペスト感染に直接関わる、家住ネズミの種類を特定することである。

3　ペストワクチンの実験



【ペスト常在地の特徴】
・半砂漠の草原が点在
・ハタリスやスナ鼠が生息
・ペストの発生
　5月下旬～6月上旬
・ペストの発生は鉄道から離れた原野の中に散在
【1933～1936までの処置方法】
・発生地から他部や都市に蔓延するのを防ぐことに主力
・田舎の駐在所を根拠地
・匪襲を警戒
・「満人」の家の宿泊
【防疫員】
・大車(荷馬車)・・石炭酸他消毒薬　噴霧器　蚤取粉　大きな蒸籠(衣服の蚤取りと消毒)
　解剖器具　防毒衣
・警察官と共に騎馬で行動
【警察隊】 警察官にペストのイロハから教育
・匪賊情報や発生部落の大きさを考慮して編成
・部落民にペスト防疫の必要性を説明して協力を要請
・検病検査
【患者や関係者の隔離】
・交通の遮断
・検病戸口調査・・不在→追跡調査・・隠している死者や患者の発見
他部落への逃亡者が伝播するのを防ぐ

検病調査と検診
・発生家屋と他との交通を遮断
・患者や容疑者をできるだけ別棟に収容か
　やむをえない時は別室に隔離し家族に十分注意を与えて看護にあたらせる
・発生部落と他の部落との交通を遮断・・警察官が昼夜監視
・部落民にペストの伝染経路や予防方法を説明
・予防注射除虫菊粉を撒布
・石炭酸消毒
・鼠の穴に炭酸バリウムの団子を入れ、穴を塞ぐ
・防疫班が持参した新しい服と着替え
・着ていた衣服を蒸籠で蒸して蚤虱を退治する
・死体は燃料や時間に余裕のあるときは焼却
・死体は多くの場合は着衣の上から石炭酸を十分噴霧して、2m位の深い穴に埋葬
・状況によっては発生家屋を焼却・・・住民は防疫を嫌い忌避　患者と死者を隠す
・後にはできるだけ焼却を避けることにした

学生ボランティアの活動
　私は学生の時夏休を利用し満洲をまわって来ようと決心し、独乙の解剖学書ラーベルを古本屋に売り払って旅費を作り独り議然と大連に向った。
新京で南嶺の大同学院を訪ね四期の藤原、加藤、須藤先輩に会い満洲国の大理想と衛生対策の重要性とその意義を吹き込まれ、卒業したら満洲に入ろうと決心した。
昭和十二年大同学院を出て民生部保健司に配属され、防疫科勤務にされた。川上六馬先生が霞科長で早速ペスト防疫の応援に派遣され、前部旗のペスト調査所で所長の加藤政司先輩の指導をうけ、如何にペスト防疫業務の烈しいものであるかを知らされた。
零下三十度の厳寒に我々防疫員は頭から足の先まですっぽりと白装束で身をかため、ゴム長靴に除虫菊の粉末を一ぱい入れてまき、馬にのって発生地部落の検診を毎日やらなければならなかった。一軒一軒くまなくまわり問診、検温、触診(版下、鼠撲部等の淋巴腺)すること、予防接種をやること、死亡者は疎結した地下深く消毒薬を十分撒布して埋葬する。これがまた大変な仕事だった。翌日行くと昨日迄穴掘りを手伝ってくれた部落民が、今日は自分が土深く埋められる運命にあった。
一度その部落にペストが発生すると、それは全く死の町と化した。いつ死の運命がやって来るか恐怖のおののきに部落全体が覆れるのである。恐怖のあまり夜陰に乗じて部落民が部落から逃げて他の部落にもぐり込むと、そこで又発生し又大防疫が始まる。ペスト防疫の後手位に被害甚大なものはなかった。

「一九四〇年農安のペスト流行の惨状」 李継新

農安に防疫班が来た

七月十二日に防疫班が来た。この防疫班は新京から派遣されたもので、計五，六十人(その中には日本人、朝鮮人が半分を占めていた)後にその数も多くなり、北関小学校に駐在した。そこには軽、重症者の隔離所が出来た。当時の孔子廟は小学校の敷地内にあり、東側は軽症の隔離所で、又の呼び名を健康隔離所と言った。孔子廟の西には重症の隔離所があり、病院と呼んでいた。防疫班を分けて、巡察班、検査班、医療班、化験班などがあった。南門外の二十一小学校には臨時の隔離所が出来た。当時の運動場小学校付近の住人李永生の家では、車で(当時は大板車と呼んでいた)九人が連行された。臨時隔離所で死んだのは七人で、李鳳蓮、李鳳英だけが死をまぬかれたが、又、車で北関校隔離所に運ばれた。城内の住民を隔離所に入れるとき番号を登記する。各人はこの番号で臨時の登記簿(戸籍)をつくり、毎日列を作って、番号を呼ばれて検査を受ける。防疫班は険しい目つきで連れてきた住民の体温を測定し、順番に血液をとる。体温が少し高いか、又は何か問題がありそうな者は重症隔離所に即刻送られる。重症隔離所又は病室に入れられると、つまり死を意味する。李鳳連は;「私は鬼の関門から這い出てきたのです。姉李鳳英はそのとき二十一歳、私は十五歳でした。姉は重症病室に運ばれて、泣き叫びながら、私の名前を呼び続けました。鉄窓が私たちを隔て

て何も見えなくなりました。私は外で泣き、姉は中で叫んでいましたが、ややして姉の泣き声が聞こえなくなりました。そして、姉の死体が運び出されて来ました」と言った。重症隔離所には試験室があった。当時は洋風の瓦屋根の南（学生教室）に設けられていた。防疫班は毎朝九時に「手術」を始め、毎回大体三、四時間行い、夕方八時に又初める。ここは窓に遮られて、中の人が行ったり来たりする悪魔の暗い陰が見えるだけだった。

あのとき北関校はその前後に大きな門があった。車が前門から捕まえた人を入れ、後門から死体を引き出す。恒興東商店の牛車が六か月の間、百体にもなる死体を農安東門外の荒れ野に運んだ。

十月は隔離所に入れられた人の数が最も多かった。李凌栄（当時は隔離所で大工をしていた）は直接見ただけでも一百六十余人に達したが、これらの人は皆殺害されたので、死の中から逃げ出して生き延びる事ができたのは、僅かに百分の一か二くらいだろう。防疫班は、疑いのある者は「すべて殺す」ので、彼らが行った残酷な手段は、実に腹を割いて心をえぐり取るものだ。

八月二十一日の事だ；防疫班は県城内の漢方医趙守剛、阎徳礼、張俊九、邵殿挙など、十余人を組織して北関校隔離所を「参観」させた。隔離所の試験室に入ると、すぐに見たのはセメントの水槽に三体の死体が入れられており、男性が一体、女性が二体で、女性の側面はすでに腹部を切りさいてあった。東の窓の下にある木製水槽にも、二体が腹部を割かれて入れられていた。山羊ひげを生やした日本人が皿をもって、漢方医たちに、「これは『ペスト』細菌です。よい人は死なないから、君たちは良く宣伝を……」といった。

董福林は当時北街でトタン業の会社を開いていた。十一月のある朝、防疫班の車で隔離所に連れて行かれた。董福林はまるで刑場に入ったようで、「私は魂が抜けてしまったようだった」と言った。日本人は彼を孔子廟の階段に連れてきて、彼に鉄の筒をはんだ付けさせようとしたのだ。彼はやっと落ち着いて仕事をした。日本人の防疫班がその場を外した時、彼はトタン筒の一角をこじ開けて見た、彼は「頭髪が逆立つようだった。ここにあるブリキの筒には皆人間の心臓が入っていた」と言った。筒十個をハンダつけした。白尚武（今年七十一歳で、西南街二十六組に住んでいた）も董福林のトタン社で働いており、十一月には、彼もはんだ付けをした。隔離所が行った組織的なこのような所作は、実質的には捕まえた人を皆殺害する目的だったのだろう。だから、人々は隔離所を「殺人洞」だと言った。

県城を全面的に封鎖した

七月十二日に防疫班が来て、十三日に県城全体が封鎖を開始した。四カ所の門は堅く閉ざされ、交通は遮断されたから、道行く人もなく、商店は戸を閉めた。県城全体は異様に静まりかえった。一人が病気になると一家は不幸に遇い、一家に死人が出れば、県城全体が封鎖され、隔離区域が拡大された。

県城は五カ所の隔離区に分けられ、更に十何カ所かの小隔離区に分けられた。周囲は縄で囲み、更に鉄網が張られて、警察が銃をもって見張りをし、協和会の青年団が日夜巡回していた。隔離圏外には、監視哨が設けられ、この地域を取り囲む筵は、民家の屋根より一丈も高くして、隔離区の人々を監視していた。住民はこの隔離圏内から壁を隔てて往来も出来ず、薪や穀物を受け取りに行く以外は門の敷居から一歩も出られなかった。ただ、親しい人が死んで隔離区を出されるときに、見るだけだった。東北街の四十五軒は隔離区で計百六十二日間隔離され、三十八人が死亡した。

1940. 6. 4　　農安県城にPXを撒布

6. 4～7　農安・大賚間にPXを撒布

6. 9　　ハルビンチフス細菌戦？

6月中旬　農安県城にペスト患者発生

6. 17　農安県城のペスト初発患者死亡

6月　　大賚県十八家戸にペスト患者発生

農安ではペスト発生から7月12日まで、少数の防疫員しかおらずほぼ放置状

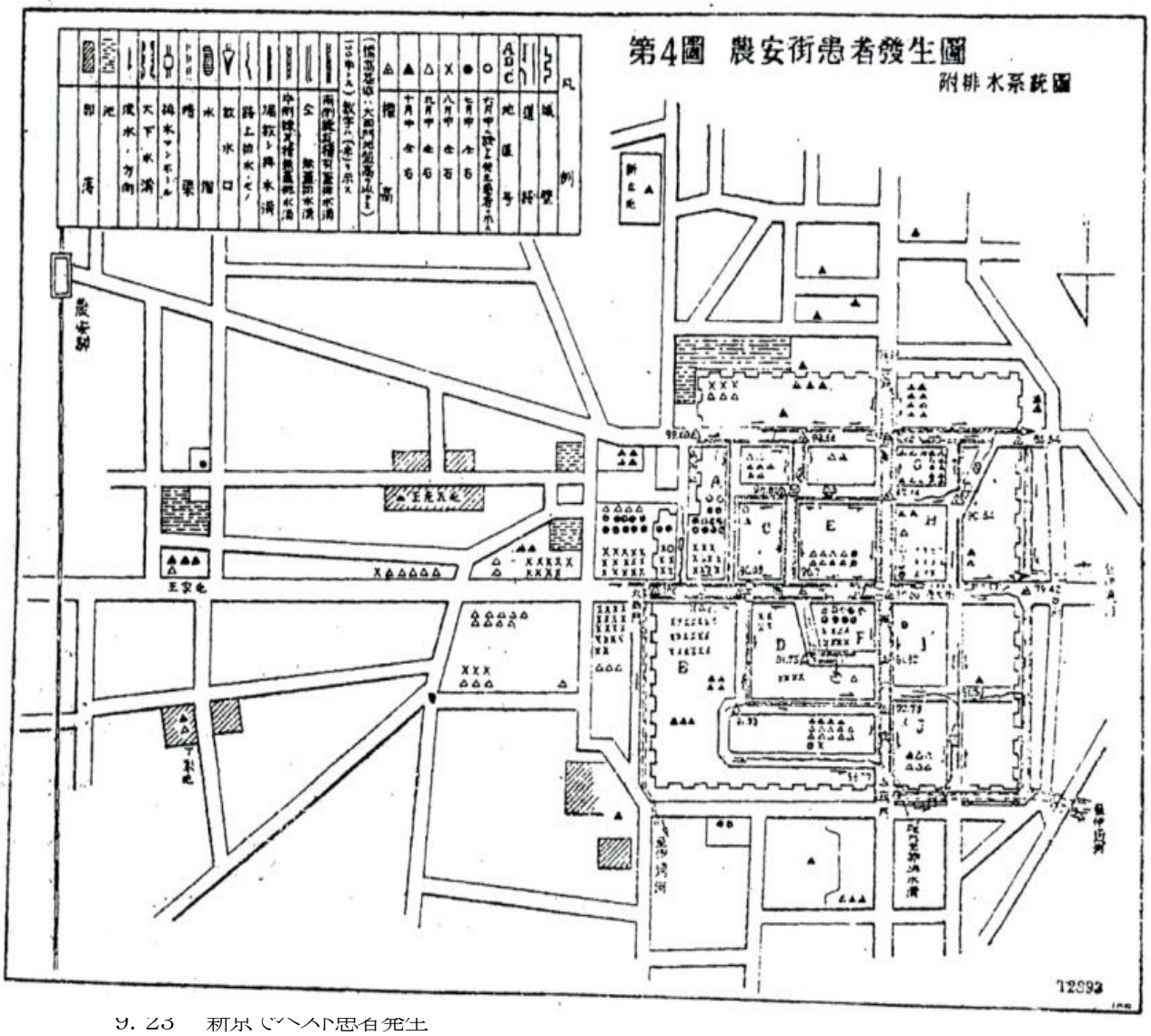
7月2日と11日に腺ペスト患者のペスト菌を採取（防疫研究報告第2部第461号）

7. 12　「満州国」民生部が防疫隊を派遣

7. 12　農安県城の封鎖

7. 13　満州日日新聞「農安にペスト現る」と報道

7, 14　新京日日新聞「ペスト　国都入り一歩前」と報道



9. 23　新京でペスト患者発生
9. 29　新京のペスト患者死亡
10. 4　衢州(県)細菌戦
10. 5　関東軍防疫給水部に出動命令
10. 7　関東軍臨時ペスト防疫隊が活動開始
10. 16　石井部隊へ農安防疫派遣命令
10. 20　石井部隊(雁部隊)を農安へ派遣
10. 24　長春防疫隊を米沙子、小合隆、双城堡、卡倫、大屯へ　派遣
10. 27　寧波細菌戦
11. 1　石井部隊は新京を撤退
11. 7　石井部隊は農安を撤退　加藤中佐等残存
11. 26　農安のペスト終息
11. 27「満州国」防疫県委員会　農安を一部撤退
12. 13「満州国」防疫県委員会　農安を完全撤退

結論は、

1と2について

「今時流行を統計的に観察した成績は大体従来の満州のペスト常在地帯に於ける流行のそれと類似していて特異な点は認められなかった」。「農安・大賚」と「農安」はペスト流行の起こり易さは同一であった。

ペストを媒介する齧歯類のうちで、タルバガンとハタリスとドブネズミはペストの感受性がとても高く、棲息数も多い。

タルバガンはシリンゴール盟の東北及びハイラル以北地方に、ハタリスは満蒙の半沙漠草原に棲息するが、市街地には棲息しない。ドブネズミは移動及び繁殖力が非常に強く、交通機関の発達につれて至るところに棲息し、家鼠であるが、野鼠(0.9%　住居跡など)にもなる。屋内居住ネズミは、ペスト常在地の何れの地でも、ドブネズミを主(92%)とし、僅かのハツカネズミ(7.2%)が分布する。

ドブネズミに寄生する蚤はケオピスネズミノミが大部分(92%)であり、他にヤマトネズミノミ(7.1%)、稀にヒトノミとネコノミである。また、ケオピスネズミノミは、他の鼠種には見られない。

市街地や農村地帯の集落でもドブネズミが原因であると証明されたようだ。

春日・谷元は、原発性人ペスト発生の直接の伝染源は家住性ドブネズミであり、ケオピスネズミノミが媒介を行うことは明らかである、と断定している。

(「満州国内に於けるペストと鼠類及蚤」 満州国立鄭家屯ペスト調査所　春日忠善　谷元源太朗　大陸医学1号　1941年)

ハタリスやスナ鼠が生息→家鼠内に波及→人家鼠であるドブ鼠に波及したペスト→その部落のドブ鼠に慢性ペストとして潜在し、次年の流行源となる

3　農安での予防接種の第1回は、7月13日より20日にかけて、全住民の3分の2に行われた。第2回目は患者多発地帯住民に9月3日より9日にかけて、第3回目は10月21日より25日にかけて実施された。いずれもワクチンはペストインムノーゲンであった。『「ペスト・ワクチン」接種者ノ「ペスト血清殺菌反応検査成績』によると、男性2人と女性1人が、7月中旬、9月中旬と10月26日の3回、ペストインムノーゲン接種を受けているのが分かる。

だが、ペストインムノーゲンによる予防効果の報告は記述されていない。

ワクチンが完成しなければ、ペスト細菌戦に必要な両輪の一つが欠けることになる。

⑤　寧波細菌戦

爆撃等　1937. 11. 12　江北岸駅　財神殿そば

1938. 2. 1　江北岸駅

1939. 4. 28　霊橋付近の繁華街

1939. 5. 1　　5. 6

1940. 7. 15　海軍は港の封鎖を宣言　7. 15鎮海沖封鎖　7. 19～21　鎮海攻撃

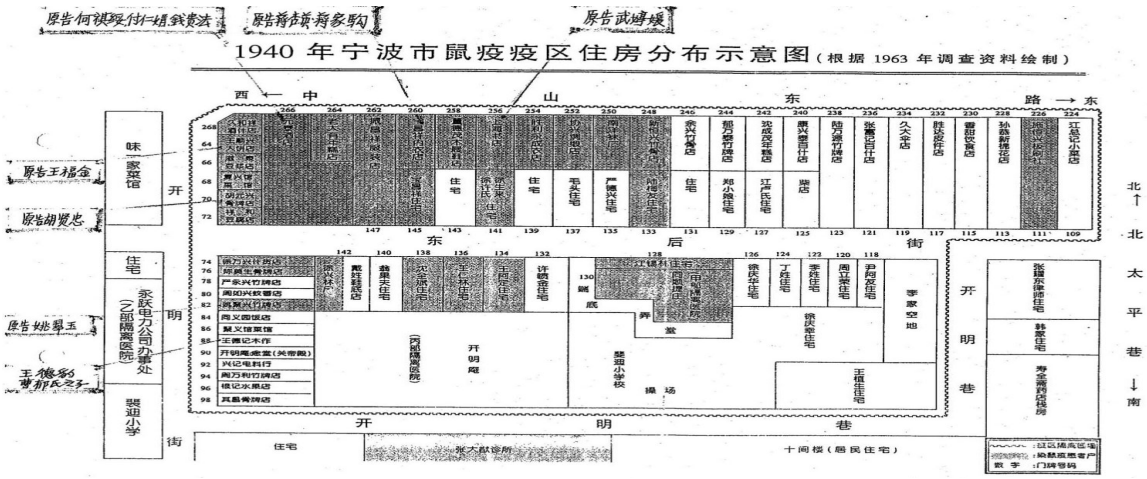
1940. 9. 3　城内西南区一帯　9. 4, 9, 10, 11

1940. 9. 9　西南区壕河街　江東　江北一帯

1940. 9. 11　霊橋

1941. 4. 20　寧波占領

1940. 10. 27　ペストノミを空中撒布　開明街・中山東路・北太平路一帯



1940. 10. 29　ペスト患者発生　31　死亡　死亡者数109名

汚染地区を焼却

裘為衆(寧波のジャーナリスト)再調査　113名

1941．5．23　市内で患者1名　25日死亡

11．18　走馬塘(寧波南方約18km)にて陳周氏　陳徳友(18歳)親子がペストで死亡。小舟で寧波から奉化江の上流に向かい、走馬塘の水路で死亡。その後走馬塘で疫病が発生、村外に4カ所の隔離所を設置。

1941．11月　孔浦(寧波南方約4km)で患者42名　泊沙1名

去月(10月)浙江省寧波に発生したる「ペスト」は11月中に於て約320名の真性患者を出し其後漸次奥地蔓延の傾向を示し最近の情報によれば･･･

昭和15年12月26日

表3　1940年寧波ペスト死亡者名簿

姓名	性別	年齢	本籍	発病	死亡	住所	備考
王正行	男	36	鄞県	10.29	10.31	開明街 16号	印刷店
楊鏡海	男	15	江蘇	10.31	11．2	開明街 64号	徒弟
王領弟	女	5	通州	11．1	11．3	開明街 64号	
頼福生	男	32	象山	10.30	11．1	開明街 66号	一家五人全員死亡
頼朱氏	女	21	象山	10.30	11．1	開明街 66号	
頼阿徳	男	25	象山	11．1	11．3	開明街 66号	象山に逃れて死亡
頼明文	男	15	象山	11．1	11．3	開明街 66号	店員，象山に逃れて死亡
無名	男	6	不詳	不詳	11．7	開明街 66号	
王阿菊	女	9	河南	11．1	11．3	開明街 68号	一家二人全員死亡
王李氏	女	56	河南	11．4	11．7	開明街 68号	
胡菊仙	女	5	鄞県	11．1	11．2	開明街 70号	義和郷にて死亡，一家四人全員死亡
胡世桂	男	56	鄞県	10.31	11．6	開明街 70号	
胡貢慶	男	7	鄞県	11．1	11．6	開明街 70号	義和郷にて死亡
胡陳氏	女	47	鄞県	11．4	11.11	開明街 70号	
兪元徳	男	16	象山	10.29	11．6	開明街 72号	
兪阿生(兪阿根)	男	34	象山	11．4	11．8	開明街 72号	
徐李氏(李阿萃)	女	60	鄞県	11．1	11．3	開明街 74号	
陳積栄	男	61	鄞県	10.30	11．1	開明街 76号	一家二人全員死亡
陳周氏	女	51	鄞県	11．1	11．6	開明街 76号	

鄞県防疫処工務組埋掩埋隊工作情形

図 15 鄞县防疫处工务组掩埋队工作情形

鄞県防疫処乙部隔離医院女病棟

図 07 鄞县防疫处乙部隔离医院女病房

しばらく」などと声をかけあっていた。出迎えの人間も、七三一部隊の出身者なのだろう。

われわれは、資材ともども、トラックに乗った。小一時間も山というか、丘陵というか、林の中の一本道を走ったところで、トラックは停止した。

われわれは、降りてきた人間をみて、アッと驚いた。将校も軍属も兵隊も、全員が七三一部隊の人間ではないか。総勢二〇〇名くらいはいたろうか。五〇名ほどの将校（主として軍医）、二〇名ほどの兵隊、そして残りは、各研究班や写真班その他雑用係も含めて、軍属である。

平房の部隊本部から全行程を車できたというからには、ひょっとしたらわれわれよりも早く出発したのかもしれない。しかし、部隊では、まったくそのような動きは感じられなかった。

総指揮は、細菌専門のI軍医大尉がとっていた。何をしようというのだろうか。

川や井戸に細菌攻撃が行なわれた

こうした周辺の偵察行動を踏まえて、細菌攻撃班が出動した。これは、軍医を含む専門班である。いずれも中国服に着替えて、朝、トラックで基地を出発する。

細菌の実験が行なわれる場合は、その日の朝、各天幕ごとに命令受領の際、「本日は、どこどこで細菌の実験を行なうので、その方面の水は飲まないように」と通達があった。

出動した細菌の専門班は、あらかじめ調べてあった川の上流に潜入して、試験管に入れたペストやチフスやその他の細菌を川に流すらしい。井戸に投入することもあったという。

夕方、彼らは基地に帰ってきた。あらかじめ、衣類や車は、外で噴霧器を用いて消毒してから、基地に帰ってくる。そして、風呂の天幕に行って、消毒風呂に入る。ヌルマ湯で消毒臭い風呂から出ると、普通の風呂に入って、臭いを落とすのだが、なかなか、臭いは消えないものだ。

「今日は細菌を使ったな」というのは、いやおうなくわかってしまう。それから数日すると、細菌を混入させた川の周辺一帯に、効果測定班が出ていった。写真班も同行した。

軍医を先頭にした一班が、周辺の集落の様子や、川や井戸の水の汚染度などを調べるのだ。住民に病名のわからない病人が出たという情報をキャッチすると、軍医は、「薬」をもって「治療」に出かけた。患者の治療という名目で、逆にいろいろと調べたのだろう。血液なども採取して帰ってきたようだ。治療法の実験もあった。このような、細菌の実験は、全部で三回くらいあった。いずれも、周辺で、正体不明の病気が流行した、と聞いた。

このような日常を目撃していると、どうやら今回の「出張」は、細菌戦の実戦訓練を目的としているらしいと、われわれにも察しがついた。

本隊が到着してから二週間目ごろのある日のことである。何名かの軍医を含む偵察班が、基地から出動していった。この偵察班は、通常の偵察班と雰囲気がどこか違っていた。写真班も同行している。

同行した者の話によれば、目的は、どうやら、中国人集落そのものの偵察にあったらしいのだ。その集落の地形、人口、周囲の状況、交通路などが綿密に検討され、データが集められた。基地に帰ってくると、さらに検討が加えられ、「それでは、この集落を目標と決める」という結論が下されるらしい。

結論は、直ちに司令部に置かれた無線を通じて、通信班の手で、平房にある七三一部隊本部に報告される。そうすると、おり返し部隊本部から「〇月×日、〇〇時に爆弾を目標に投下する」という返事が無線で送られてくるというのだ。

こういう噂は、パッと基地内に広まってしまう。「×日にどこかに爆弾を落とすらしい」と隊員たちはささやきあうのだった。そして、噂は、本当だった。

当日の朝、例によって朝の命令受領時に、「本日、〇〇方面に爆弾を投下するので、注意せよ」と通達されたのである。

爆弾が投下されてから一週間ほどたつと、効果測定のために専門班が編成されて、出かけて行く。この時、倉庫から、防毒衣、防毒面等が出されるので、われわれは、ペスト菌だとわかるのである。ペストは空気感染なので、防毒衣がないと、味方もやられてしまうのだ。

効果測定には、軍医、写真班、軍属のほか数人の護衛の兵士を含めて、二、三〇人が出動した。出動した隊員によると、標的とされた中国人集落への途中までは車で行くらしい。

ある地点にくると、全員車から降りて、防毒衣・防毒面を着用する。白い潜水服を着たような異様な一団となって、さらに山道をたどり集落に入る。

集落では、すでに家を明けて逃げ出した者も多い。あちこちに、発病した村人が横たわっている。例外なく高熱にうなされている。

軍医たちは、すばやく手わけして、病人の状態を調べる。呼吸、脈搏、体温を記録していく。病人が、爆弾を落とされたとき、どこにいたのかなどを質問する。手当と称して、何か処置をしたり、病人の血液を採取する。まだ、発病していない者がいると、当時どこにいたのか訊問する。そして、何か注射している。わたしの聞いたところでは、健康な者には、あらためて細菌を注射するようなこともあったらしい。結果的に集落は、全滅に近い被害を受けてしまうのである。

写真班は、その情景の一つひとつを、たんねんにうつしている。病人の苦しむ様子も克明に16ミリで撮っている。

ひととおりの効果測定が済むと、全員、遺留品を残さぬようにして、集落を撤退する。車のところまで戻ってくると、噴霧式の消毒器で防毒衣や備品を徹底的に消毒してから、基地に帰ってくる。そして、さらに消毒風呂で、完全に消毒をするのだ。

中国人集落から持ち帰った、血液その他のサンプルは、基地内の研究室に集められた。そのうち、さらに重要なものについては、杭州の飛行場から飛行便で平房の七三一部隊本部へ送られるとのことだった。

隊員のなかにも、異常を訴える者が出たが、基地内の医務テントで診察と治療をうけて、ことなきをえたようだ。隊員の病死者はでなかった。

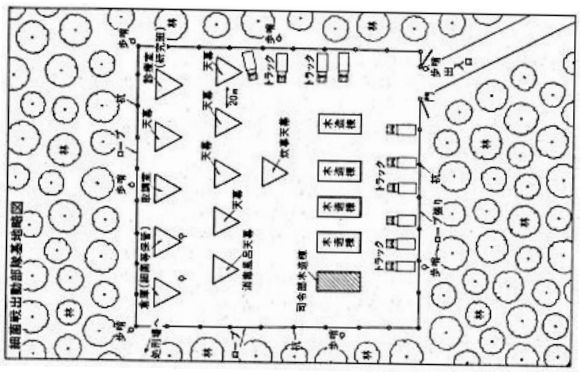
このように、細菌の川への混入や爆弾による投下が数次にわたって行なわれた結果、この付近一帯に、原因不明の伝染病が猛烈な勢いで流行しているという噂がパッと広がった。

杭州あたりでは、中国の新聞が、大々的にそのことを報道しはじめたらしい。これ以上、「実験」を続けていくと、もう部隊の秘密を守りとおすことが困難ではないか、という危惧が高まった。

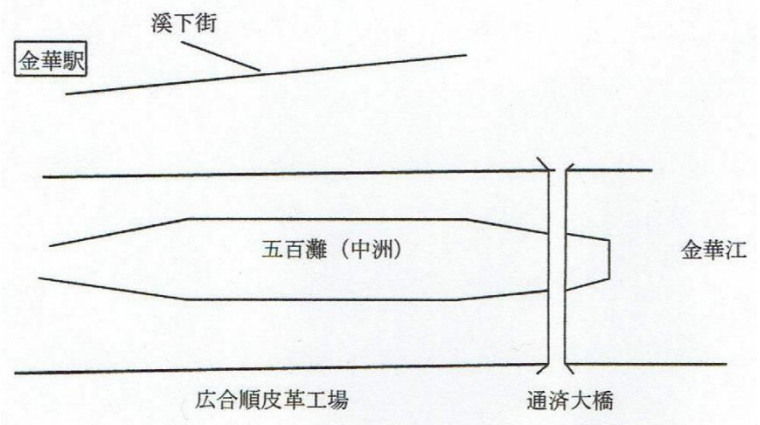
七三一部隊本部でも、そのことを察知したらしい。効果と影響の甚大さに満足すると同時に、これ以上は危険だと判断したと思われる。

ある朝、突然に命令が出た。「明日をもって本隊に復帰する」と。

『【真相】石井細菌戦部隊』


細菌戦出動部隊基地配置図
ロータ
天幕
防毒室
ロータ
天幕
防毒室
ロータ
天幕
防毒室

ペスト流行の原因と考えられる場合は三つある。



①魚卵状物質の空中散布

容啓栄「浙江ペスト調査報告書」や投下物の検査報告によると、1940 年 11 月 28 日に日本軍機が金華上空に白煙を撒いたと記録されている。白煙と見えたものは、グラム陰性桿菌（ペスト桿菌）の入った、魚卵様の半透明で粘性のある細かいもの（直径約 1mm）であった。溪下街や溪灘〔五百灘？〕上空に白煙が 3,4 時間漂い、南郊外五里牌の広合順皮革工場付近に降下し、工場の職員の衣服に付着した。衢州や寧波で日本軍機がペストノミを散布したことから、金華の場合は、肺ペストの流行が目的だろうと考えられている。この顆粒は一種の培養基で、雨が降れば溶けて地面にペスト菌が残り、晴れれば塵や埃とともに舞い上がる。それを人が吸入すれば肺ペストに罹ることが可能だと推測している。

②ペストノミの空中散布

新華日報への投書を転載した人民日報（1950.2.6）には、日本軍機が 1940 年後半に、大橋〔通済大橋？〕付近に泥の詰まった麻袋を投下した。袋が破れてノミが現れ、間もなく金華にペストが発生したとの内容だ。しかし、「PX の効果略算表」には金華細菌戦が記載されてはおらず、誤報かもしれない。

③伝播

衢州（衢県）では、1940年10月4日に細菌戦が実施され、11月15日からペストの流行が始まった。衢州から金華は浙赣鉄道で結ばれており、距離は86kmだ。衢州から金華にペストが伝播することは十分にあり得る。

中支那防疫給水部の近喰秀大元軍医は、戦後に発表した論文「鼠族のペスト菌に対する感受性に就て　第 2 報」（昭和医学会雑誌 1959 年 12 月）に「当実験地域は金華で、昭和 16 年夏季より昭和 17 年春季にかけてペスト流行があり死亡者は481名（？）を出したところである」と記述している。

そして、「当実験地は義烏であるが第 1 実験地金華と同時季（ママ）にペストの流行があった」と記述している。義烏のペスト流行は 1941 年 9 月からであるから、上記の流行期間と符合している。

第2表　ドブネズミ，エヂプトクマネズミ，クロクマネズミの体重別によるP感染実験

実験回数ならびに年月日	鼠の種類 / 体重	ドブネズミ 供試数	ドブネズミ 死亡数	ドブネズミ %	エヂプトクマネズミ 供試数	エヂプトクマネズミ 死亡数	エヂプトクマネズミ %	クロクマネズミ 供試数	クロクマネズミ 死亡数	クロクマネズミ %	摘要
第1実験 (昭17. 10 ～ 昭17. 12)	40～ 60	5	4	80.0	23	19	82.6	14	12	85.7	当実験地域は金華で，昭和16年夏季より昭和17年春季にかけてペスト流行があり死亡者 481 名（？）を出したところである実験室は冬季の気温低下のため保温保濕意の如くならずドラム缶を利用し，薪，撒水により辛うじて温度 12～16°C，濕度 65～75％に保持せしめるを得たのである
	61～ 80	17	12	70.6	28	22	78.5	19	12	63.2	
	81～100	27	23	85.2	67	63	94.0	21	18	85.7	
	100～150	16	11	63.8	31	23	74.2	9	7	77.8	
	151～200	14	9	64.3	27	22	81.5	21	15	71.4	
	201～250	20	12	60.0	19	10	52.6	11	6	54.6	
	計	99	71		195	159		95	70		
第2実験 (昭17. 10 ～ 昭18. 1)	40～ 60	2	2	100.0	17	14	82.4	9	6	66.7	当実験地区は義烏であるが第1実験地域金華と同時季にペストの流行があつた．本実験を実施した時期に於て義烏より約 4 Km．距つた松山部落にペスト小流行があり，著者は当地に位置しペスト防疫に任した．死亡者 82 名を出した．当時の溫濕度は 20～13°C，70 ％前後である．
	61～ 80	11	8	72.7	73	63	93.2	16	14	87.5	
	81～100	18	18	100.0	44	43	97.7	24	24	100.0	
	100～150	25	21	84.0	15	12	80.0	31	30	96.8	
	151～200	27	21	77.8	18	16	83.9	20	15	75.0	
	201～250	17	11	64.7	24	18	75.0	19	12	63.2	
	計	100	81		191	171		119	101		

また、「鼠族のペスト菌に対する感受性に就て　第 1 報」（医学と生物学 1959 年 9 月）には、この実験を金華周辺に於い

てペスト防疫作業に従事中(昭和 17 年 11 月 1 日～昭和 18 年 3 月 10 日)に行った、と記述している。

まとめると、金華では 3 回の大規模なペスト流行があったことになる。
1940 年 12 月初め頃、金華にペストが大流行　死者数百名
昭和 16 年夏季より昭和 17 年春季　死亡者は481名(？)
昭和 17 年 11 月 1 日～昭和 18 年 3 月 10 日
1940年末　死亡160人(浙江文史資料第56輯　鉄証)

台湾义勇队设在金华的第一“台湾医院”，当地人亲切地称他们为“台湾医生”。

台湾義男隊台湾医院